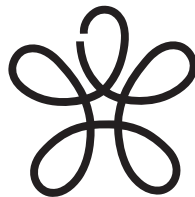


2023 年度

履修科目を選ぶにあたって

通信授業科目要項

〈正科生 1 学年配当科目・図書館司書・
学校図書館司書教諭コース 用〉



◎ この冊子は卒業するまで大切に保管ください ◎

出願時の履修科目の選択にご活用ください。
また、正科生の上級学年配当科目については、WEBでご確認ください。

通信授業科目要項について

通信教育は、その本質から自学自習が中心となりますが、これらの学習のあり方に戸惑いを感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

通信教育における科目は、テキスト学習などによる通信授業科目と講義による面接授業科目（スクーリング・メディア）に分かれています。いずれの科目においても「何のために」「いかに学ぶか」という目的や方法を前もって理解しておくことが大切です。

この科目要項は、本学通信教育部で開講されている**通信授業科目**の概要や、学習目標、学習のポイントなど担当教員からのアドバイスを紹介していますので、学習に際しては、この科目要項をよく読み、担当教員の指導方針を十分に理解したうえで、学習の意義や方法を見出してください。

※最新の科目要項は Kindai Web Syllabus にてご確認いただけます。

近畿大学通信教育部のホームページよりアクセスできますので、活用してください。



通信教育部法学部の教育方針について

【アドミッションポリシー】（入学者受入れの方針）

法学部（通信教育部）は、関西における大学通信教育の草分けであり、大学の門戸を広く社会に開放すべく設立されました。「いつでも・どこでも・誰でも」という基本方針のもと、近畿大学建学の精神に則り、法的に物事を考える姿勢を身につけた社会で求められる人材を育成します。このために、次のような入学者を受入れます。

- 1 法学部での履修に必要な基礎学力を有する人。
- 2 ルールや制度についての知識を積極的に修得し、社会的問題に対するよりよい解決策を提示する意欲を持つ人。
- 3 法や政治についての幅広い知的好奇心、コミュニケーション能力を持つ人。
- 4 社会生活の基礎となる倫理観を備える人。

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

「法的に物事を考える姿勢を身につけ、激動する社会のなかで、自分を見失わず、社会構造の変化にも積極的・柔軟に対応できる、広い視野と豊かな思考の持ち主を養成します」という法学部の教育理念を実現するため、以下のようなカリキュラムを設置しています。

〈総合科目〉

人文・社会・自然にわたる幅広い内容を学び、高い倫理観とグローバルな視点に立った教養を身につけます。スポーツ以外の科目はすべて通信授業科目で構成しており、レポート作成を通じて論理的思考力を養成します。

〈外国語科目〉

外国語科目を通して、その国の言葉や諸外国の文化や伝統を知り、習慣の違いを認識することで、生き生きとした国際感覚を持ち、グローバルな視点から状況判断ができる人材を育成します。

〈専門科目〉

法学部入門科目に加えて、学科の専門的内容に応じた入門科目も学べるよう設計されています。第1類選択必修科目は、六法を総合的に学習できるよう構成されており、また、遠方に在住などの事情で、面接授業科目に出席できる機会が限られている場合でも、メディア授業を通じて学習できるよう構成されています。さらに第2類選択必修科目では、第1類選択必修科目よりも高度で専門的な内容を学ぶことができ、法学だけでなく、経済学などの学習を通じて多角的・総合的な視点を養い、法学部生として不可欠な法的思考力（リーガルマインド）を身につけます。

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

法学部（通信教育部）は、近畿大学の建学の精神や教育理念を念頭に、「激動する社会の中で広い視野と豊かな法的思考により、積極的かつ柔軟に行動する能力を修得させることと、そのような能力を備えた21世紀を担う人材を育成すること」を教育目標としており、目標に照らした厳格な成績評価を行っています。所定の年限在学し、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

- 1 近畿大学の教育理念である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」に合致する人格へと自らを向上させ、成長させ続ける態度を身につけること。
- 2 社会に対する広い視野と高い倫理観を持ち、社会構造の変化に対して積極的・自主的に対応できること。
- 3 専門分野の基本的な知識を修得し、体系的に理解できていること。
- 4 広範な教養と専門的知識、法的思考力（リーガルマインド）を活用して社会に存在する問題を発見し、積極的かつ柔軟に問題を解決する能力を身につけること。

「激動する社会の中で広い視野と豊かな法的思考により、積極的かつ柔軟に行動する能力を修得させることと、
そのような能力を備えた 21 世紀を担う人材」

【ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）】

1. 近畿大学の教育理念である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」に合致する人格へと自らを向上させ、成長させ続ける態度を身につけること。

2. 社会に対する広い視野と高い倫理観を持ち、社会構造の変化に対して積極的・自主的に対応できること。

3. 専門分野の基本的な知識を修得し、体系的に理解できていること。

4. 広範な教養と専門的知識、法的思考力（リーガルマインド）を活用して社会に存在する問題を発見し、積極的かつ柔軟に問題を解決する能力を身につけること。

	＜人格の陶冶＞	＜社会に対する広い視野＞	＜専門分野の知識・理解＞	＜問題発見・解決能力＞
総合科目	人間論（心理学） 生命現象論（生物学） 自然環境論（地理学） 文化交流論（歴史） 日本文化論（文学） 情報リテラシー論（数学） 科学方法論（化学） 健康スポーツ科学	日本社会システム論（法学） 日本社会システム論（経済学） 人権論（同和問題論）※不開講 国際社会システム論（社会学） 国際社会システム論（政治学）		
外国語科目	英語読解 英語総合 英語特修（A） 英語表現 ドイツ語基礎 ドイツ語読解 中国語基礎 中国語読解 韓国語基礎 韓国語読解			
入門科目			法学入門 公法入門 私法入門Ⅰ（財産法） 私法入門Ⅱ（家族法） 私法入門Ⅲ（商法） 政治学入門 刑事法入門 国際法入門	
第一類選択必修科目			民法総則① 民法総則② 憲法 商法（総則・商行為法）① 商法（総則・商行為法）② 物権法① 物権法② 刑法総論 行政法総論 民事訴訟法 刑事訴訟法① 刑事訴訟法② 債権法総論① 債権法総論② 会社法	卒業論文
第一類選択必修科目	電子計算機概論① 電子計算機概論② プログラミング論① プログラミング論②	財政学① 財政学② 社会政策① 社会政策② 経済原論① 経済原論② 国際経済論① 国際経済論② 国際政治学 西洋政治史	労働法① 労働法② 刑法各論① 刑法各論② 親族・相続法① 親族・相続法② 社会保障法① 社会保障法② 刑事政策① 刑事政策② 国際法 著作権法 裁判法 手形・小切手法 行政法各論 工業所有権法 海商法 不動産登記法 保険法 有価証券法 地方自治法 消費者保護法 債権法各論	法社会学 日本法制史 法哲学 法医学

—●— 複数の分野にまたがることを表します。

短期大学部通信教育部の教育方針について

【アドミッションポリシー】（入学者受入れの方針）

短期大学部（通信教育部）では、関西における大学通信教育の草分けであり、大学の門戸を広く社会に開放すべく設立されました。「いつでも・どこでも・誰でも」という基本方針のもと、近畿大学建学の精神に則り、日々変化するビジネスの世界に興味を持ち、様々な視点から問題解決に取り組みたいと考える次のような人を求めています。

- 1 短期大学部のカリキュラムを通じ、実学を学びたい人。
- 2 社会が求める知識と教養を身につけたい人。
- 3 豊かな人間性を有するビジネスパーソンをめざしたい人。

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

短期大学部（通信教育部）は、実学を学び、知識と学力を蓄え、向上心を高め、積極的な問題追求と思索を重ねる人を育成するため、「建学の精神」と「教育理念」に基づき、経営学を中心としたカリキュラムを編成し、教育を行います。

〈総合科目〉

人文・社会・自然にわたる幅広い内容を学び、高い倫理観とグローバルな視点に立った教養を身につけます。スポーツ以外の科目は、すべて通信授業科目で構成しており、レポート作成を通じて論理的思考力を養成します。

〈外国語科目〉

外国語科目を通じて、その国の言葉や諸外国の文化や伝統を知り、習慣の違いを認識することで、生き生きとした国際感覚を持ち、グローバルな視点から状況判断ができる人材を育成します。

〈専門科目〉

専門科目Ⅰでは、ビジネスに欠かせない基礎理論を中心としたカリキュラムのもとで、ビジネスパーソンとして必要な知識と能力の養成を行います。また、実学として専門性の高い分野を専門科目Ⅱにおいて開講します。個別企業の組織や活動状況から複雑な経済社会の動向に至るまで、重要な情報の収集選択方法と同時に、分析（解析）に不可欠なスキルを学びます。豊富な専門知識の蓄積と思考方法の訓練を通して、現状の的確な把握と高い視点からの分析、判断を可能にします

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

短期大学部では、本学の「教育理念」と「建学の理念」に基づいたカリキュラムを通して、ビジネスパーソンとして社会に貢献し、社会に求められる人材を育成します。そのために厳格かつ厳正に成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、短期大学士（経営学）の学位を授与します。卒業までに身につける資質・能力を以下に示します。

- 1 ビジネスの社会で必要となる知識や思考能力、スキルを修得していること。
- 2 将来に向けたキャリアデザインやキャリア形成ができること。
- 3 専門知識、技能を修得し、幅広い視点からものごとを見つめ直し、社会の動きを的確に、かつ、体系的に捉えられること。
- 4 人間性豊かで国際感覚を会得した教養人であること。

「ビジネスパーソンとして社会に貢献し、社会に求められる人材」

【ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）】

1．ビジネスの社会で必要となる知識や思考能力、スキルを修得していること。	2．将来に向けたキャリアデザインやキャリア形成ができること。	3．専門知識・技能を修得し、幅広い視点からものごとを見つめ直し、社会の動きを的確に、かつ、体系的に捉えられること。	4．人間性豊かで国際感覚を会得した教養人であること。
<ビジネス・スキル>	<キャリアデザイン>	<専門知識・技能修得>	<国際感覚・教養>
日本社会システム論（法学） 日本社会システム論（経済学） 国際社会システム論（社会学） 国際社会システム論（政治学） 情報リテラシー論（数学）			人間論（心理学） 生命現象論（生物学） 国際社会システム論（社会学） 国際社会システム論（政治学） 情報リテラシー論（数学） 自然環境論（地理学） 文化交流論（歴史） 日本文化論（文学） 人権論（同和問題論）※不開講 科学方法論（化学） 健康スポーツ科学
英語総合 英語特修（A） 英語表現 ドイツ語読解 中国語読解 韓国語読解			英語読解 ドイツ語基礎 中国語基礎 韓国語基礎 英語総合 英語特修（A） 英語表現 ドイツ語読解 中国語読解 韓国語読解
マクロ経済学① 商学総論① 簿記論① 民法① 商品学① 経営学総論> 商法（商事関係法）.....>	卒業ゼミナール	マクロ経済学② 商学総論② 簿記論② 民法② 商品学② 経営学総論 商法（商事関係法）	卒業ゼミナール
金融論> 会計学① 中小企業経営論 国際経済論① 原価計算論① 不動産論 保険法 有価証券法 財政学① 生産管理> 労務管理論① 経営管理論① 証券論> マーケティング論 ミクロ経済学① 情報処理論① 秘書学概論 事務管理 国語表現法> コンピュータ基礎①	① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② 概念論 and 実務 ① and ②	金融論 会计学② 国際経済論② 原価計算論② 国際政治学 憲法> 交通論 财政学② 生産管理 労務管理論② 経営管理論② 証券論 ミクロ経済学② 情報処理論② 秘書実務 コンピュータ基礎②	① or ② ① or ② 国語表現法

① and ② (科目名) ①と(科目名) ②の両方修得を表します。
① or ② (科目名) ①と(科目名) ②のいずれかが修得を表します。

目 次

法学部法律学科・短期大学部商経科 正科生共通

〈総合科目〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年	ページ
人 間 論 (心 理 学)	1105	4	1	15
生 命 現 象 論 (生 物 学)	1402	4	1	21
自 然 環 境 論 (地 理 学)	1404	4	1	23
文 化 交 流 論 (歴 史)	1101	4	1	13
日 本 文 化 論 (文 学)	1104	4	1	14
※ 日本社会システム論 (法 学)	1301	4	1	16
日本社会システム論 (経 済 学)	1304	4	1	19
人 権 論 (同和問題論)	現在、不開講となっており、履修できません。			
国際社会システム論 (社 会 学)	1302	4	1	17
国際社会システム論 (政 治 学)	1303	4	1	18
情報リテラシー論 (数 学)	1401	4	1	20
科 学 方 法 論 (化 学)	1403	4	1	22
健康スポーツ科学	1601	1	1	24

※現在、教員交代に伴う調整が遅れております。

出願開始時点では WEB シラバスで確認ができます。

〈外国語科目〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年		ページ
			法学部	短期大学部	
英 語 読 解	7701	2	1	1	27
英 語 特 修 (A)	1501	2	2	2	28
ド イ ツ 語 基 礎	1509	2	2	1	25
中 国 語 基 礎	1513	2	2	1	26

法学部法律学科

〈第1類選択必修科目〉

科目名	科目コード	配当学年	単位数	ページ
民法総則①	2002	1	2	31
憲法	2004	1	4	32

短期大学部商経科

〈専門科目Ⅰ〉

科目名	科目コード	配当学年	単位数	ページ
マクロ経済学①	2101	1	2	35
商学総論①	2103	1	2	36
簿記論①	2109	1	2	38
民法①	3102	1	2	40
商品学①	3501	1	2	41
経営学総論	2105	1	4	37
商法(商事関係法)	2111	1	4	39

図書館司書科目

〈甲 群〉

科 目 名	科目コード	ページ
生 涯 学 習 概 論	5701	45
図 書 館 概 論	5702	46
図 書 館 情 報 技 術 論	5703	47
図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	5704	48
図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	5705	49
情 報 サ ー ビ ス 論	5706	50
児 童 サ ー ビ ス 論	5707	51
図 書 館 情 報 資 源 概 論	5709	52
情 報 資 源 組 織 論	5710	53

〈乙 群〉

科 目 名	科目コード	ページ
図 書 ・ 図 書 館 史	5801	54
図 書 館 実 習	5802	55
図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	5803	56
図 書 館 情 報 資 源 特 論	5804	57

学校図書館司書教諭科目

科 目 名	科目コード	ページ
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	5601	61
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	5602	63
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	5603	64
読 書 と 豊 かな 人 間 性	5604	65
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	5605	66

総 合 科 目
外国語科目
(法学部・短期大学部共通)

科目コード	1101	科目名	文化交流論（歴史）
■ 授業概要・方法等 試験・レポートともに、テキスト・参考書の理解、独自の観点など総合的に評価する。自分の言葉で、論理的に叙述することが基本であり、テキスト・参考文献の丸写しは評価できない。独創的なものをうちだそうとする意欲の感じられる答案・レポートを歓迎したい。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 文化交流論（歴史）では、西欧の歴史を中心に歴史の基本的な知識・概念・発想を習得しながら、特に情報技術の発達あるいはコミュニケーションの歴史を考察していく。 我々のおかれている時代の急速な情報技術の発達は人間存在のあり方そのものをも変えようとしている。人間が社会的存在である以上、コミュニケーションに依存した存在だからである。さらにそれは地球の一体化、すなわちグローバリゼーションをもたらし、より関連性に富んだ国際社会が展開し、そこに我々は一層深く組み込まれている。 「資本主義」あるいは「グローバル化」といったキーワードと「コミュニケーション」がどのように結びつき、21世紀初頭の我々をどのように規定しているのかといった問題に対する歴史的視野を獲得することを本科目の目標としたい。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に参与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に参与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストは、西欧の基礎的な知識・概要の叙述に、情報伝達・コミュニケーションの歴史がはさま込まれる形をとっている。西欧の通史の部分はかなり要約したものになっているが、辞典・用語集などを利用して積極的に知識の確認を日常的に続けていただきたい。また、テキストの各章末に参考文献をあげておいたが、これでもごく限られたものにすぎない。レポートの作成、終末試験の準備にあたって、それ以外の文献もどんどん利用していただきたい。さらに映画・音楽・絵画・文学など様々なジャンルで歴史経験を積み、それが感じられる答案・レポートを高く評価したい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「文化交流論（歴史）」 ■ 授業計画の項目・内容 レポート同様、テキストをしっかりと読み込んでおくこと。さらに参考文献も含め他の書物にあたり、あらかじめ自分なりの答案を作成してみるといいだろう。終末試験当日はそれをしっかりと覚えて試験にのぞむことである。 テキストの「ワンポイント・レッスン」を勉強のきっかけにしてもらいたい。			

科目コード	1104	科目名	日本文化論（文学）								
■ 授業概要・方法等 我々の祖先が築いてきた日本文化のひとつに「文学」があります。日本という国の文化的背景から国文学がどのように発生し、時代の流れと共に国文学がどのように推移してきたのか、それぞれの時代を反映した言葉で綴られた国文学を概観します。 グローバル社会を迎えた現代だからこそ、改めて自国の文化のひとつである国文学への理解を深めていただきたいと願っています。日本文学の特質を知ることにより、日本という国の奥深さを世界に広めることができることなのでしょう。常にグローバルの視点を忘れずに、自国の文学を読み解いていきましょう。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 日本文化のひとつである「文学」の流れを知り、それぞれの時代を反映した「国文学の特色」が整理できることを学習・教育の目標としています。また、古代・中古・中世・近世・近代・現代へと繋がる「国文学の流れ」が理解できることを到達目標としています。 読書することにより、深い知識が身につきます。興味のある書物を多読してください。多読することにより、語彙数も増え、表現も豊かになります。テキストに書かれていることを丸暗記するのではなく、内容を理解した上で独自の表現（自分の言葉）でまとめることが大切です。テキストを熟読した上で、出題されたレポート設題に対する解答を自らの文章で作成してください。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 授業時間外に必要な学修 まず、テキストを熟読してください。次に、他の書物（参考文献）に目を通します。参考文献は、ひとつのレポートに対して2冊以上読んでください。（作成の際には、レポートの最後に書名、著者、発行年、発行所を明記しましょう。） レポートは、自分の言葉でまとめましょう。テキストや参考文献から抜き書きしたり、書き写すものではありません。テキストや参考文献から引用する際には、必ず引用記号（「 」）を用いて明記してください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「国語表現法」 ■ 参考文献 『日本語表現法』（「書く・話す・伝える」ための技法）西尾宣明 編著 樹村房 [ISBN] 9784883672219 ■ 関連科目 国語表現法 ■ 授業計画の項目・内容 <table border="0"> <tr> <td>1. 日本文学の発生と特色</td><td>2. 古代の文学</td><td>3. 中古の文学</td><td>4. 中世の文学</td></tr> <tr> <td>5. 近世の文学</td><td>6. 近代の文学</td><td>7. 現代の文学</td><td></td></tr> </table>				1. 日本文学の発生と特色	2. 古代の文学	3. 中古の文学	4. 中世の文学	5. 近世の文学	6. 近代の文学	7. 現代の文学	
1. 日本文学の発生と特色	2. 古代の文学	3. 中古の文学	4. 中世の文学								
5. 近世の文学	6. 近代の文学	7. 現代の文学									

科目コード	1105	科目名	人間論（心理学）
■ 授業概要・方法等 心理学の知識は私たち自身を振り返る視点を提供してくれる。まずは様々な心理学の理論を正しく理解したい。そうすればその理論を通して私たちは自分の行動や思考を理解することができ、それらをコントロールし、よりよく生きていくことができると考えている。ただ課題をこなすだけでなく、自分の身に寄せて理解をすることで、より使える知識として身につけてほしい。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 心理学の様々な知識を正しく理解することをまずは学習目標とする。これまで心理学は様々な研究や実験をおこない、人間の心や行動を説明する理論を構築してきた。それらの理論は、相互に矛盾するものもあるが、それぞれ心理学者の考えや実験、実践をもとにして客観的に示されたものであり、私たちの心や行動を理解するために役立つものである。 この人間論（心理学）では、これらの心理学の理論についてまずは正しく理解し、続いてそれらの理論を通して自分の心や行動を理解し、よりよく生きていくために使える知識とすることを目指すしている。 テキストのみならず、引用文献や参考文献、さらにはインターネットなども利用して、それぞれの理論の内容についてしっかりと消化して理解し、表現することを求めたい。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストだけで十分に理解できない内容については、ぜひ他の資料、引用文献や参考文献、インターネットや他の心理学テキストで補完をして確実に理解してほしい。レポートにせよ、科目終末試験にせよ、教科書や文献の丸写しでなく、しっかり自分で理解して回答してこそ、本当の使える知識になると考えている。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「人間論（心理学）」 ■ 授業計画の項目・内容 自分がどう考えるかという感想のような自分の意見を述べるのではなく、まずはきちんと理論や説を理解し、様々な現象を説明することが大切である。テキストを熟読し、十分に理解できない内容については、引用文献やインターネットなどを利用して正しく理解すること。どうしても自分の考えを述べたい場合は、正しい理論の説明を行った後に、その理論について自分の意見を述べること。			

科目コード	1301	科目名	日本社会システム論（法学）
現在、教員交代に伴う調整が遅れております。 出願開始時点では WEB シラバスで確認ができます。			

科目コード	1302	科目名	国際社会システム論（社会学）
■ 授業概要・方法等 現代では、国民国家のボーダーを越境して、ヒト・モノ・カネ、情報が移動する「グローバリズム」がキーワードになりつつある。政治、経済、文化のグローバル化はますます進み、既存の価値体系が新たな枠組みに置き換えられようとしている。例えば経済の分野では、市場経済が世界的規模で拡大し、地域に固有な伝統的システムを改変しつつある。今や世界中のどのような地域においても、モノやサービスの交換や流通は、市場や貨幣を媒介してなされている。あるいは文化に関しては、特定の地域や国の名称を冠した「文化本質論」的な観点からではなく、人や情報の移動に伴ってハイブリッド化された「文化の混淆」の観点から分析されることが必要になっている。また、日本国内に目を転じれば、グローバリズムと経済発展により、少子高齢化や核家族化、過疎や過密、SNS によるいじめやサブカルチャーといった、従来とは異なる新たな論点が重要性を増してきている。 この科目を通して、現代の国際社会および日本社会を構成している諸要素の成り立ちと、それらの背景、および問題点について、理解をさらに深めるとともに、批判的な視点をもてるようになってもらいたい。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①現代社会の問題を理解し、多角的な視野で理解することができるようになる。 ②経済発展は豊かな生活の実現に寄与するだけでなく、人びとの価値観を変革し、社会システムを変容させることを知る。 ③グローバリゼーションの中で生起する「差異」が多層化を生み出す過程についての知識を得られるようにする。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1, 2, 3, 4 の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 普段からグローバル化や国内問題についてのニュースや新聞記事に触れ、現代社会の理解に役立てること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「国際社会システム論（グローバリゼーションの中で）」 ■ 授業計画の項目・内容 1. 教科書をよく読むこと。また必要文献を適宜探して自学すること。 2. レポートや試験では、「客観的事実」と「自分の意見」とを分けること。 3. 段落を分けて書くこと。字数の条件を守ること（条件を満たさぬものは不可）。 4. 読めない字は採点対象外。 5. また「丸写し」答案およびそれに準じるものは、レポートは何度でも再提出、試験は不合格とする。			

科目コード	1303	科目名	国際社会システム論（政治学）
■ 授業概要・方法等 この科目は政治学における概念と理論を、その歴史的な発展と関連づけて学習し、現代の政治制度および政治過程についての知識を修得することを内容とする。テキストの学習を通じて現実の政治現象の枠組みをとらえることを目標としたい。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 毎日起きている様々な政治の世界の出来事は、一見ばらばらでつながりがないように見えるとしても、①誰が、②何のために、③どのような場所で、④どのようなルールに従って活動しているのかを考えることができる。そうすることで、より立体的、体系的に理解することができる。政治学で学ぶのはそのような見方を身につけるための知識である。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に参与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1, 2, 3, 4 の達成に参与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「国際社会システム論（政治学）」 ■ 授業計画の項目・内容 テキストを学習する際、重要事項については、その予備的な記述、本体部分、細かい説明、というように分かれて記述されています。自分が読んでいるのがどの部分に当たるのかを意識して読んでください。それから試験やレポートの際、テキストとは関係なく、自分が政治について思うことを書いてくる人がいます。政治について意見を持つことは必要ですが、一方で政治・スポーツ・教育というのは素人でも好き勝手に評価できる分野だともいわれています。100%自分の意見だけでは学習しているかどうかの判断ができないので、テキストの内容にもとづいて記述するようにしてください。			

科目コード	1304	科目名	日本社会システム論（経済学）
■ 授業概要・方法等 経済学は、国の舵取りなどに必要不可欠な重要な学問ですが、そのような大きな問題だけでなく、人間の意思決定や行動に絡む様々な現象（喫煙や肥満、恋愛も対象になります）を解き明かし、純粋に知的好奇心を満足させてくれる非常に面白い科学でもあります。ただ、経済学の「考え方」には相当に「癖」がありますので、それなりに勉強が必要になります。この科目では、経済学特有の「考え方」を中心に学びます。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 経済学特有の「考え方」を身につけて、世の中の様々な現象を読み解くことができるようになることを目標とします。 この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 世の中の様々な事柄に興味を持つようにしてください。そのために、新聞を出来るだけ読むことを推奨しますが、経済記事以外の記事にも目を通してください（芸能欄も含めて経済学のネタはあちらこちらに転がっています）。 また、教科書で書かれていることがしっかりと理解できるまで復習をしてください。教科書だけでは理解できないところは、関連文献などで調べて理解するようにしてください。教科書を理解できるまで読み込むと、相手にとって分かり易い文章作成や会話の能力が格段に上昇します。時間がかかりますが、是非頑張って教科書の復習をしましょう。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「日本社会システム論（経済学）」 ■ 参考文献 上記テキストに、文献案内が掲載されています。 ■ 関連科目 ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学 ■ 授業計画の項目・内容 指定された教科書をまずは読み（最初は小説を読むつもりで楽しみながらざらりと、2回目以降は教科書の内容を鵜呑みにせずに、時には引っかけながら）、次に教科書の中で出題される演習問題を解いてみてください。演習問題を解けなかった箇所を中心に、再度教科書を読んで思考の弱点を克服してください。また、演習問題を解いた後で、今度は自分で問題を作って（題材は私たちの身の回りにあふれています）解いてみる（自問自答する）ことをお勧めします。おそらく、より一層学習効果が高まるでしょう。			

科目コード	1401	科目名	情報リテラシー論（数学）
■ 授業概要・方法等 「線形代数」と「微分積分」を知っていれば、世界に通用する数学を身につけたことになる。これは、データ分析、コンピュータによる数値計算等が理解できるというだけではない。数学的な物の見方、考え方はあらゆる社会、経済生活に関わってくる。数学の「理論の証明」を読み、「具体的な計算例」の追試をすることで、論理的な思考力を鍛練することもできる。 そこで、本科目では「線形代数学」「微分積分学」の基礎を学習していく。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 「線形代数学」の基礎として、1. 行列の定義を理解して基本操作ができるようになる、2. 行列を使って連立1次方程式を解ける、3. 行列式を様々な計算に活用できる、4. ベクトル空間について理解する、5. 線形写像について理解することを目標にする。 また、「微分積分学」の基礎として、1. 関数と極限について理解する、2. 簡単な関数の微分をできる、3. 微分を応用して様々な計算ができる、4. 簡単な関数に対する不定積分、定積分を求められる、5. 定積分を応用して面積や体積を求められる、6. 簡単な微分方程式を解けることを目標とする。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 例題、基本例題、重要例題の解答をしっかりと読み、その後にある問、演習問題を自力で解いてみる。分からないときは、巻末にある解答を参考にする。問、演習問題が十分でない場合は、参考書から問題を拾って補うこと。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「情報リテラシー論（数学）」 ■ 参考文献 「やさしく学べる基礎数学 - 線形代数・微分積分 -」 石村園子 著 共立出版 [ISBN-13] 9784320016835 ■ 授業計画の項目・内容 教科書に従って、線形代数学の行列、連立1次方程式、行列式、ベクトル空間、線形写像、および微分積分学の関数と極限、微分、微分の応用、不定積分、定積分、定積分の応用、微分方程式について学習する。			

科目コード	1402	科目名	生命現象論（生物学）
■ 授業概要・方法等 生物学で学ぶ内容は、私たちもヒトという生物である以上、生きていく上で知っておかなければならないことです。また、地球上に生息する多種多様な生物の生命現象を理解することは、きっとあなたの生活で役にたつことだと考えています。一つ一つの生命現象を理解し、それがあなたの周囲の環境や日常の生活とどう関わっているかを考え、知識として身につけてください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 生命の基本的な性質を理解し、形や性質が異なる多種多様な生物の生命現象に共通するものがあることを知ってもらいたい。さらに、生命の本質を自分なりに探究してもらいたい。それによって生命の尊さを感じ取れることが最終的な目標です。また、学習を通して新型コロナウイルスやワクチンなどのニュースを正しく評価できるリテラシーを身に付けることも目標の1つです。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマ・ポリシー1の達成に關与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマ・ポリシー4の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 他の資料や新聞、ニュースさらにインターネットを使ってテキストを補完し、確実に理解して欲しい。自分で理解してレポートを作成することが大切です。また、近年はips細胞や新型コロナウイルスの研究など、新たな成果が活発に発信されています。メディアで取り上げられる生物学に関する話題に興味を持ち、参考文献などで積極的に調べることを推奨します。 予習内容：各項目の理解 復習内容：内容の修得 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「生命現象論（生物学）」 ■ 参考文献 「ベーシックマスター細胞生物学」尾張部克志 神谷律 著 オーム社 [ISBN] 9784274207440 「分子細胞生物学（第2版）」多賀谷光男 著 朝倉書店 [ISBN] 9784254171624 「キャンベル生物学 原書11版」池内昌彦、伊藤元己、箸本春樹、道上達男 訳 丸善出版 [ISBN] 9784621302767 ※高価なので図書館での利用を勧めます。 ■ 関連科目 生物学 ■ 授業計画の項目・内容 テキストを熟読し、各項目の内容を理解すること。テキストの各章末の研究課題について考えることも理解の助けとなります。十分に理解できない時は、必ず参考文献やインターネット等を利用して正しく理解するように努める。内容によっては、まず箇条書きにして自分の考えをまとめ、それから文章を起こしていくのもよいでしょう。近年主流となっている分子生物学についてはテキストのみの学習では不十分な面があります。生物の根幹をなす「セントラルドグマ」についてなど、参考文献等を活用し、十分な学習を目指してください。			

科目コード	1403	科目名	科学方法論（化学）
■ 授業概要・方法等 化学とは、我々の身の回りに存在する物質のみならず、宇宙を構成する全ての物質の構造、性質、および物質の反応を対象とする学問である。化学に関する理解は、単に物質を科学的に理解するだけでなく、地球環境や生命などを正確に理解する上でも必要な知識である。この科目では教科書「科学方法論（化学）」を用いて、化学の基礎について学びます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 宇宙、そして地球上に存在するすべての物質は元素によって構成されている。元素は様々な結合形態により物質を作り出す。化学とは物質の構造、性質そして変化を取り扱う学問である。この科目では物質を構成する元素（原子）の構造と周期性、物質を形成する際のルール（化学結合）、物質の取りうる状態、化学反応など基本を理解した上で、物質の合成方法、エネルギー問題、環境問題、生体構成物質の役割を理解する。			
■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 授業時間外に必要な学修 テキストだけで理解できない内容については、参考文献やインターネットにより補完して学習目標を完全に理解してください。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト「科学方法論（化学）」			
■ 参考文献 「標準基礎化学」梅本喜三郎 著 裳華房 [ISBN] 978-4-7853-3067-5 「大学生のための例題で学ぶ化学入門」大野公一、村田滋、錦織紳一 著 共立出版 [ISBN] 978-4-320-04377-0 「Primary 大学テキスト これだけはおさえない化学」井口洋夫・木下實・齋藤幸一 他著 実教出版 [ISBN] 978-4-407-31988-0			

科目コード	1404	科目名	自然環境論（地理学）
■ 授業概要・方法等 古代ギリシアで「土地を記述する学」として発達した地理学であったが、21世紀固有の地理学が求められている。その理由は①私たちが住む地球を取り巻く環境を学習し、災害の予知や防災、地球規模の環境問題を解決する学問である。②地球上に住む様々な人びとの生活様式を理解し、「異文化」へのやさしいまなざしを学ぶ学問であり、世界中の人びとと仲良くなれる。③地理学を学ぶことにより多くの知識を得て、私たちの人生はより楽しく豊かなものとなる。①は「役に立つ地理学」、②は「平和の地理学」、③は「知の地理学」といえよう。考古学が遺物を、歴史学が史料や文書を大切にするように、地理学では地図が重要である。また、地理学は「生きた学問」であり、分析に必要なデータ類は変化するので、常日頃から新聞、テレビなどの報道、インターネット情報などには注意し、手元に世界地図帳や世界統計などがあることが望ましい。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 地理学の二大分野である自然地理学的事象と人文地理学的事象の基礎事項を理解すること。 2. 日本各地、世界各地の地誌についての理解を深めること。 3. 統計資料と各種地図の内容を把握し、自ら主題図が作成できるようになること。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育学部商経科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「自然環境論（地理学）」 ■ 参考文献 テキストの最後に列記 ■ 授業計画の項目・内容 レポートも試験もエッセイではなく、科学的根拠に基づいた科学性をもつものでなければならない。そのためには多くの文献を読み、分析力や思考力を身につける必要がある。教科書からは基礎的な事項を学び、そこから多様な文献や情報へむすびつけ、多面的・多角的な学修を展開させる必要がある。とくに、レポート作成ではこのような視点に立ったものでなければならない。学修の方法としては、まず選択する設題内容を理解し、そのなかで主要な項目（テーマ）について学ぶことが重要で、この学修は設題で求められる範囲を超えたものでなければ、学修効果は小さい。例えば、「10」の内容を事前に学んだとすれば、レポート作成に直接使われるのはせいぜい「2～3」程度とみるのがよいと思われる。つまり、レポートに直接反映されないことがらを理解することで、レポートで使用する内容が充実してくる。このプロセスがたいへん重要である。また、レポート作成段階には教科書や各種文献から文章群や内容そのものを引用したり、レポートの一部として、それらの内容が盛り込まれる場合をよくみかける。しかし、それらの著者は設題内容を説明するために記述しているわけではなく、別の目的をもっていることが多い。こういった点を認識したうえで、目的をはっきりとをもって作文したい。なおインターネット情報は活用すべきであるが、誤った情報も多いので利用にあたっては十分に精査する必要がある。			

科目コード	1601	科目名	健康スポーツ科学
■ 授業概要・方法等 生涯にわたり健康的でより豊かな生活を送るために必要な知識や技能を生活の中で実現してゆく方法を学ぶ健康スポーツ科学は、総合科目の中でも特に総合的であり、重要なものです。文明がいちだんと発達する中で、健康障害が指摘され、現代社会の中で活動しながら大学課程を修めている通信教育部の学生諸君にとっては、年齢、専門に関わりなく、必須の教養であると考えます。 健康スポーツ科学理論は、現代社会において心身の調和を図り、健康・体力を保持増進するとともに、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康な生活を送るための運動を科学的に理解し、生活に応用する能力を身につけてもらうようテキストや参考書によって学習します。広大な学問領域ですから、幅広い知識をもつことも大切ですが、領域を適当にしぼり、重点的に出題します。実技は近畿大学の教員が担当して面接（実技・実習）授業を行います。体力の回復・増進・維持においてライフスタイルの重要性が強調され、一要素として運動が重視されています。バドミントン、ソフトバレーボール、卓球、フライングディスク、レクリエーションスポーツなど2～5種目が教材として利用できますが、学生数が少ないと設定できる種目が限られます。 ＊メッセージ 学習の目標を達成するためには、学生が自己の身体運動を理論的に解明し、実践することで、「世の中には、自分の身体に聞いてみる以外に方法がない」ことを実感してください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 スポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、生きがい感を得ることです。身体運動を体験することで「型」の再認識と、その結果もたらされる社会規範の復活が健康スポーツ科学に課せられたもう一つの役割です。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に必要ながあれば講評を行い返却します。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「健康スポーツ科学」 大島 寛 ■ 参考文献 九州大学健康・スポーツ科学研究会 編『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』大修館書店 [ISBN] 978-4469267891 安部孝・琉子友男『これからの健康とスポーツの科学』講談社 [ISBN] 978-4065180952 ■ 関連科目 健康スポーツ科学（実技） ■ 授業計画の項目・内容 テキストを熟読し参考書などを利用し、すべての問題について自分の言葉でまとめること。 その際、出題で問われている事柄や、ポイントを的確に押さえ学習すること。 スポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、自己実現や社会貢献といった生きがい感を得ることです。			

科目コード	1509	科目名	ドイツ語基礎																												
■ 授業概要・方法等 日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の説明、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 ドイツはヨーロッパの中央に位置し、オーストリアやスイスの一部と共にドイツ語圏を形成し、周辺の国々や地域も含めて、約1億人の人たちがドイツ語を話し、EU（欧州連合）の中でドイツ語は最も多く使用されている重要な言語となっています。堅くて難しいというイメージが先行するドイツ語ですが、そのルーツは英語とかなり近い関係にあり、また語順などはむしろ日本語に似ているところもあり、私たち日本人には学びやすい言語だといえます。 このテキストで表現されているドイツ語は、日常的に使われているものばかりです。いつかドイツ語圏へ旅行することがあれば、買い物やレストランでの食事の時にここで学ぶドイツ語を片言でも使えたら、いっそう楽しい体験ができるでしょう。 ドイツ語を学ぶことを通して生活習慣や文化に触れて、さらに自分の世界を広げていきましょう。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 初めて学ぶ言語なので、毎日コツコツと勉強を続けることが大切です。分からない単語は前もって調べ、辞書を引く習慣をつけましょう。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「ドイツ語基礎」 ■ 参考文献 (辞書) <table> <tr> <td>在間 進</td> <td>新キャンパス独和辞典</td> <td>郁文堂</td> <td>[ISBN] 9784261073065</td> </tr> <tr> <td>根本 道也</td> <td>アポロン独和辞典〔第3版〕</td> <td>同学社</td> <td>[ISBN] 9784810200065</td> </tr> <tr> <td>在間 進</td> <td>アクセス独和辞典〔第3版〕</td> <td>三修社</td> <td>[ISBN] 9784384012347</td> </tr> </table> (参考書) <table> <tr> <td>根本 道也</td> <td>やさしい！ドイツ語の学習辞典</td> <td>同学社</td> <td>[ISBN] 9784810200058</td> </tr> <tr> <td>在間 進</td> <td>ドイツ語のスタートライン</td> <td>三修社</td> <td>[ISBN] 9784384053708</td> </tr> <tr> <td>本郷 建治</td> <td>ドイツ文法の要点</td> <td>三修社</td> <td>[ISBN] 9784384044201</td> </tr> <tr> <td>清野 智昭</td> <td>ドイツ語のしくみ〔新版〕</td> <td>白水社</td> <td>[ISBN] 9784560086568</td> </tr> </table> ■ 授業計画の項目・内容 ドイツ語のポイントは動詞の変化と位置、そして名詞、代名詞の格変化です。特にこの二点に着目してドイツ語を学んでいくと、ドイツ語の仕組みがよく分かります。レポート及び科目終末試験でもここに重点を置いています。				在間 進	新キャンパス独和辞典	郁文堂	[ISBN] 9784261073065	根本 道也	アポロン独和辞典〔第3版〕	同学社	[ISBN] 9784810200065	在間 進	アクセス独和辞典〔第3版〕	三修社	[ISBN] 9784384012347	根本 道也	やさしい！ドイツ語の学習辞典	同学社	[ISBN] 9784810200058	在間 進	ドイツ語のスタートライン	三修社	[ISBN] 9784384053708	本郷 建治	ドイツ文法の要点	三修社	[ISBN] 9784384044201	清野 智昭	ドイツ語のしくみ〔新版〕	白水社	[ISBN] 9784560086568
在間 進	新キャンパス独和辞典	郁文堂	[ISBN] 9784261073065																												
根本 道也	アポロン独和辞典〔第3版〕	同学社	[ISBN] 9784810200065																												
在間 進	アクセス独和辞典〔第3版〕	三修社	[ISBN] 9784384012347																												
根本 道也	やさしい！ドイツ語の学習辞典	同学社	[ISBN] 9784810200058																												
在間 進	ドイツ語のスタートライン	三修社	[ISBN] 9784384053708																												
本郷 建治	ドイツ文法の要点	三修社	[ISBN] 9784384044201																												
清野 智昭	ドイツ語のしくみ〔新版〕	白水社	[ISBN] 9784560086568																												

科目コード	1513	科目名	中国語基礎
■ 授業概要・方法等 中国語は世界において使用人口の最も多い言葉であり、日本人にとっても親しみやすい言葉だと思います。中国は日本の26倍の広さを持って、また14億の人口があり、56の民族を有する多民族国家です。もちろん、言葉の種類も非常に多いです。約7つの方言－北方語、呉語（江蘇、浙江）、湘語（湖南）、贛語（江西）、客家語（広東、広西から福建の一部にまたがる）、閩語（福建）、粵語（広東）があります。これらの方言は外国語のようにまったく通じないほど違います。しかし、この7つの方言の中では、全人口の約70%の人が北方語を使っていると言われていています。この北方語の語彙を基礎とし、北京語の発音を標準音として、また文法は現代口語文で書かれた代表的著作を標準と定めたのが全国共通の「普通話」です。つまり、北京の発音で北方の言葉を話すということです。この「普通話」が言わば標準語にあたります。 中国語も日本語も漢字を用いて表記されるので、日本人にとって、中国語は他の外国語よりわかりやすいと考えられます。日本人の漢字に対する知識は中国語を学ぶうえで大きな手助けとなることは事実ですが、一方、それが落とし穴になることもあります。つまり、日本語と同じ漢字でも意味が違うものもありますので、中国の歴史、社会、風俗、習慣、衣食住などよく理解し、中国と日本の違いを把握することが中国語学習の基本です。 中国語の特徴は大きく分けると、3つあります。 1. 一つの音節の中に必ず母音があります。また、母音が単独で使うことができます。 2. 一つの音節は、一つの漢字で表します。どの音節にも声調符号がついていて、声調が違ふと意味も異なります。 3. 文法は語順と虚詞（実際の意味を持たずに、文を構成するために用いられる品詞のこと）とを主要な手段としているため、語の順序を変えると意味が異なります。 中国の文字については、かつて中国では「繁体字」（画数の多い複雑な字体）を使用（台湾・香港はいまも）していましたが、現在では「簡体字」（簡略化した字体）を正式に使用しています。「簡体字」は一部の日本語の略字と同じですが、大いに異なっていますので注意を要します。 中国語は面倒な活用を覚えることがありませんので、入門しやすい言葉です。ただ、漢字になれているため、音声を軽視しがちになるので、この点に注意しなければなりません。また、中国語は声調が語の意味を決める重要な働きをしていますので、大切なポイントとなります。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 中国語の学習には、文法の理解は比較的に難しくありませんが、初心者にとって発音と声調という高低のアクセント（四声）の理解は決して容易ではありません。したがって、テキストを通して、現代中国語および現代中国の事情を理解して、「聞く」「話す」「読む」「書く」のため、正確な発音、基本的な語彙・文法などを身につけることを目標とします。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストや参考書などを何度も熟読し、すべての問題について自分で整理して、わからない語彙や文法など辞典で調べておけば、それほど解けない問題ではありません。ただし、基礎文法や慣用表現などをよく理解してから解答をしてください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「中国語基礎」 ■ 授業計画の項目・内容 外国語を学習する上での一番基本となる参考書は、何といたっても辞書に他なりません。最初から語彙の多い大型辞書を買うよりも、分かりやすい日中・中日辞書から勉強を始めるのがいいでしょう。 また、試験やレポートについてはあくまでも自分なりに整理や作成し、他人が書いたものをそのまま写さないように注意してください。			

科目コード	7701	科目名	英語読解
■ 授業概要・方法等 テキストは、Part I 中学レベル、Part II 高校レベル、Part III 大学・一般レベルの英語と、三つのレベルに分けてあります。目標は、実用的に英語が読めるということです。大学・一般レベルに新聞・雑誌・小説・評論の英文を集めています。このレベルの英文が読めるようになればいいということです。それぞれのレベルを読み、どの程度かを確かめながら、最後のレベルに挑戦してください。 普通に自分だけで読む時には、大雑把に読み飛ばして大体的内容がわかればすみますが、試験では正確に理解できているかどうかが問われますので、テキストの英文については文法的にも内容的にも正確に理解するように心掛けて、さらに文法事項を適切に説明できるように心掛けてください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 実用的に英語が読めるレベルに達するには、このテキスト以外にたくさんの英文を読む必要があります。自分にとって比較的安易だと思える英文を、出来るだけ辞書を引かないで読んでみてください。 （辞書を引くのに時間がかかって英語を勉強するのが嫌になることが多いからです。繰り返し出てくる語で、どうしても意味をはっきりさせたい時に初めて辞書で調べましょう。） この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「英語読解」 ■ 授業計画の項目・内容 外国語に強くなるには、とにかくたくさんやる以外に方法はありません。読めるようになるにはたくさん読むこと、聞き取れるようになるにはたくさん聞くことです。そのためには労を惜しまず、少しの時間でも毎日かけるしかありません。それが努力というものでしょう。 “There is no royal road to learning.”			

科目コード	1501	科目名	英語特修 (A)
■ 授業概要・方法等 この科目では、Paul Stapleton のエッセイ、Exploring Hidden Culture『日本とアメリカー深層文化へのアプローチ』（金星堂）を読み、語彙力と読解力を増強することを目標とします。どちらも比較的平易に書かれていますが、巻末の NOTES や辞書などを使いながら、一文一文しっかりと読み、きちんと内容を理解できるようにしましょう。その際、文法書などで文法の項目なども確認するとさらに力がつくでしょう。（いくら読んでも分からない場合は、どこが分からないかをはっきりさせてから、質問を学習質疑として事務局までお送りください） ■ 学習・教育目標及び到達目標 本書ではアメリカ合衆国・カナダ・日本という3つの国の文化がその特徴を中心に比較されている。それぞれの国の文化とその底流に流れる価値観を読み取って、異文化に対する理解を深めることを目標とします。同時に平易な英文の読解を通して、基礎的な文法事項を確認し、同時に新しい語彙を学ぶ。NOTES、辞書などを利用して、自ら読むことによって、読解力を鍛える。 この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマポリシー 1, 2 の達成に關与しています。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1, 2, 3, 4 の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートあるいは科目終末試験 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキスト巻末の NOTES に記載されている内容以外にも、自ら辞書や参考文献、インターネットなどを利用して、テキストを精読し、幅広い語彙知識と文法力を付けてもらいたい。また、テキスト以外にもさまざまな英語に触れ、英語に慣れ親しんで欲しい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト『英語特修 (A)』 ■ 参考文献 『英文法解説』 江川 泰一郎 著 [ISBN] 9784760820092 ■ 授業計画の項目・内容 1. Cultural Patterns 2. The Physical Environment 3. Religion 4. Politics 5. Authority 6. Time 7. Diversity 8. Appearances 9. Sexual Issues 10. Housing 11. Sports 12. Newspapers 13. Shopping and Business 14. The New Family 15. The New Student/The New Worker			

第一類選択必修科目 (法学部)

科目コード	2002	科目名	民法総則①
■ 授業概要・方法等 民法第1編（1条～169条）の民法総則と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるという地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目終末試験に合格すれば単位が認定されます。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 総則中に登場する基本概念を理解すること 2. 総則に規定されている諸制度の要件・効果を把握すること この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 最新の六法を参照しながら教科書等を読み、意義・要件・効果に留意してノートを作成すること。判例・学説が対立している問題についてはまず判例の考え方を十分に理解したうえで、学説との違いを明らかにすること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「民法総則」 ■ 参考文献 『民法講義〈1〉民法総則 第7版』（近江 幸治、成文堂：2018）[ISBN] 9784792327163 『民法の基礎（1）総則 第5版』（佐久間 毅、有斐閣：2020）[ISBN] 9784641138322 『民法総則 第9版（法律学講座双書）』（四宮 和夫、弘文堂：2018）[ISBN] 9784335315428 『民法判例百選1 総則・物権 第8版（別冊ジュリストNo.237）』（有斐閣：2018） [ISBN] 9784641115378 ■ 関連科目 私法入門Ⅰ（財産法）、物権法、債権法総論、債権法各論			

科目コード	2004	科目名	憲法
■ 授業概要・方法等 憲法とは、明治維新前後に我が国にもたらされた Constitution の訳語として明治 10 年代半ば以降定着することになる言葉で、その本来の意味は、「国のしくみ」である。この授業は、そうした国のしくみを理解するためのものである。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 授業概要にあるとおり、国のしくみとしての憲法を理解することを第一の目標にする。本来西洋諸国で成立した概念であることから、西洋近代の歴史を踏まえた上で、わが国の憲法（日本国憲法はその重要な部分）の全体像を把握すること。日々の憲法関連報道に対する各自の判断基準を確立すること。こうしたことを通じて、法的思考力の涵養を到達目標とする。この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与している。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。 ■ 授業時間外に必要な学修 教科書をよく読み、基本的な知識を整理し理解することは必要最少限のことであるが、それ以外に、日々報じられる憲法関連のニュースに興味を持ち、何が問題なのかを考えることが必要である。そうするとおのずから様々な情報や資料を参照することに繋がり、また今日では、ネットを通じて容易にそれが可能になっている。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「憲法」 ■ 参考文献 『日本国憲法入門』 小林幸夫・吉田直正 編著 玉川大学出版部 [ISBN] 978-4472404290			

専門科目 I

(短期大学部)

科目コード	2101	科 目 名	マクロ経済学①
■ 授業概要・方法等 マクロ経済学は実践的な学問です。この科目の基礎を学べば今の日本経済や他国の経済で、なぜそのようなことが起こっているかを知ることができます。ケインズをはじめとして、過去の先人たちが苦心の末、経済法則を見つけ出し、それらを理論的に整理したものがマクロ経済学ですから、内容はいたって論理的ですが、基礎になりますので、しっかり身に付けてください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 マクロ経済学は経済学の基礎となりますので、以下の点を修得することが出来ます。 ①新聞や経済雑誌の記事がよりよく理解できる。 ②日々の経済ニュースに関心が持てるようになる。 ③応用経済（例えば、財政学や国際経済など）にスムーズに入って行ける。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 日頃から経済問題に興味を持ち、常に「なぜ」という問題意識を持ってください。またテキストを通して学んだことを現実の経済問題に応用してください。たとえば消費は所得に依存しますが、「本当だろうか」という問題意識を持ち、自分の経験やデータなどで本当かどうかを考えてください。重要なことはそのような習慣をつけることです。日々この点を意識してください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「マクロ経済学」 ■ 参考文献 岩田規久男『基礎コース マクロ経済学』（第2版）新世社 [ISBN] 4-88384-097-2 ■ 関連科目 ミクロ経済学、財政学、日本社会システム論（経済学） ■ 授業計画の項目・内容 必ず、はじめからスタートしてください。序章の2は飛ばしていただいて結構ですが、本文で分からないところが出てくればここへ戻って調べてください。第1章は1国の現実のGDPの捉え方を勉強します。第2章は基礎を中心に勉強される方は飛ばしていただいて結構です。第3章はマクロ経済学のメイン部分ですので必ず分かるまで勉強してください。その後、貨幣、IS-LM、財政政策、金融政策、国際経済へと進んでください。そこまでがマクロ経済学の基礎となります。			

科目コード	2103	科目名	商学総論①
■ 授業概要・方法等 近畿大学の商学体系の基礎を学びます。商業・流通の基礎概念をもとにして、卸売業・小売業のあり方、流通政策、マーケティング行動を明らかにしてまいります。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 「商」とは取引の連鎖、財の社会的移動に関わる人間行動をいいます。この科目では、具体的に商業・マーケティング・流通の基礎概念を理解すること、特に商業とマーケティングの違い、両者の今日的なあり方、さらには流通政策の果たす役割を理解することを目標にしています。その上で、論述試験の基礎的な解答方法を身につけることも目標とします。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% 問題や設題の解答には、一定の分量が必要です。「商学総論」には数行の解答で終わる問題や設題はありません。良い答案・レポートは問いに対して的確に答えており、おのずと一定の分量になっています。 ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 ・ 商業・マーケティング・流通の専門用語は、専門書によって多少の違いがあります。まず教科書で基礎的な専門用語を確認してから、他の専門書を読んでいきましょう。 ・ 普段から、新聞、経済雑誌、ニュース等で流通企業の情報をチェックしておきましょう。理論を理解する手助けになるからです。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「商学総論」 ■ 参考文献 井田泰人『商学の基本を学ぶ 15 講』晃洋書房、2014 年 [ISBN] 9784771025660 小林隆一『ビジュアル流通の基本 (第 5 版)』日本経済新聞出版社、2016 年 [ISBN] 9784532119317 『会社四季報業界地図 2023』東洋経済新報社、2022 年 [ISBN] 4492973311 石原武政・竹村正明編著『1 からの流通論 (第 2 版)』碩学舎 (中央経済社発売)、2018 年 [ISBN] 9784502283611 和田・恩蔵・三浦『マーケティング戦略 (第 6 版)』有斐閣、2016 年 [ISBN] 9784641221833 廣田 誠ほか著『日本商業史』有斐閣、2017 年 [ISBN] 9784641165069 谷内正往・加藤 諭『日本の百貨店史』日本経済評論社、2018 年 [ISBN] 9784818825024 満園 勇『日本流通史』有斐閣、2020 年 [ISBN] 4641165866 ■ 関連科目 商品学、マーケティング論、経営学総論 ■ 授業計画の項目・内容 終末問題やレポート設題の解答にあたっては、まず教科書や商学総論スクーリングの内容を元に (基本に) してください。その上で参考文献を利用すると良いものになります。			

科目コード	2105	科 目 名	経営学総論
■ 授業概要・方法等 経営学は「営利企業」の利潤追求のための技術やノウハウを研究する学問ではない。「営利企業」以外にも、「公共事業や公企業」、最近ますます重要性を増してきた「非営利組織」、あるいは日常の個人が生活を営む「家庭」などに共通する個別経済組織が活動する際の「組織の構造」と「組織の行動」を研究する学問である。 この組織をどのように研究するかと言えば、その中心はその組織の在り方を経営主体の管理活動を通じて究めることである。組織は個別の経営単位であるので、「経営学」は優れて個別主体が経済単位としての組織を自己の目的に適合させてどのような構造にするのか、これを使ってどのように目標を立ててそれを達成しようとするのか、そのためにどのような行動をとるのかを研究する。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この「経営学総論」では主として営利目的で経営される企業を対象にして、どのような構造を構築しそれをどのように動かしているのかを学習する。その場合、企業をとりまく経営環境をどのように捉えてそれに適応するのか、そしてどのような目的行動をとるのかに焦点を当てる。 そこで、この科目の体系として次のような内容の講義となる。 1) 経営を支える組織の構造とは何か。その具体的な経営形態はどのようなものか。 2) 経営環境とは何か。経営をとりまく内外の環境にはどのようなものがあるのか。それは今後どのように変化して経営に影響を与えるのか。 3) この環境にどのように適応するのか。 4) 経営はその変化する状況の中でどのようにして戦略目標を設定しどのようにそれを達成するのか。そのためにどのような組織化と管理活動をするのか。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1, 2, 3 の達成に 関与している。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。 ■ 教科書 堀田和宏 著『経営学総論』近畿大学通信教育学部、2000 年（通信授業科目用テキスト「経営学総論」） ■ 授業計画の項目・内容 設問とは違う問題への解答はどれほど良くても不合格になるから、すべての設問の準備をすること。設問ごとに「サブノート」を作り全体として問題の所在を把握しておくこと。 多くを読む必要はない。教材を繰り返し熟読すること。 テキストや参考書はあくまで基礎を学習するものである。本当の理解は2年次の「経営管理論②」のスクーリングをよく聴くことが望ましい。それで学習を積み重ねることができる。			

科目コード	2109	科目名	簿記論①
■ 授業概要・方法等 まず複式簿記の構造と役割を把握することにより、その原理と必要性を理解していきます。その後は、個別具体的な記帳処理を学びます。最終的には決算整理を行い、主要な財務諸表である貸借対照表と損益計算書を完成できる能力を養います。簿記は黙読だけでは身に付きにくいので、実際に記帳してみてください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 受講者は、 (1) 複式簿記の構造と役割を理解し、 (2) 様々な取引の記帳処理の方法を習得し、 (3) 株式会社の簿記についても理解し、 (4) 試算表や精算表を作成し、 (5) 決算整理を行い、 (6) 財務諸表（貸借対照表と損益計算書）を作成できるようになります。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストをよく読んで理論的なことや記帳処理の方法を把握したうえで、別途検定試験用（日商簿記3級程度）の問題集などを活用し、実際に仕訳や転記など記帳を繰り返しやってみるとより内容を深く理解することが出来るので、挑戦してください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「簿記論〔改訂版〕」 ■ 参考文献 『入門現代簿記〔第2版〕』鈴木基史 他、中央経済社 [ISBN] 9784502364211 『入門簿記会計』日野修造、中央経済社 [ISBN] 9784502422713 『現代企業簿記の基礎〔第4版〕』松本康一郎 他、同文館出版 [ISBN] 9784495194543 『日本簿記学説の歴史探訪』上野清貴、創成社 [ISBN] 9784794415332 『大学で学ぶ入門簿記テキスト〔第3版〕』しまだのおこ、シマダ簿記教室 [ISBN] 9784907329488 『大学で学ぶ初級簿記テキスト〔第3版〕』しまだのおこ、シマダ簿記教室 [ISBN] 9784907329518 『現代簿記会計の基礎』郡司健 他、中央経済社 [ISBN] 9784502343810 『企業簿記（会計基礎シリーズ）』興津裕康、森山書店 [ISBN] 9784839420949 『簿記一般教程』武田隆二、中央経済社 [ISBN] 9784502035401 ■ 関連科目 会计学 ■ 授業計画の項目・内容 ・簿記と聞いただけで、難しいと思い込んでしまい、出来ないとききらめ勉強学習をしない人が多いが、実際には難しい学問ではなく、手順さえ理解すれば簡単なことであり、取引という事象を左と右に選り分けて記入するだけで、左と右の金額が一致すればよいのであって、現在の実社会（経済社会）でこれほどまでに普及し、採用されていることや、また、各個人でも家計簿、小遣い帳などをつけていることでも良くわかることであろう。 A) 簿記では資産、負債、純資産、収益、費用という五つの記録、計算の要素に分け、それぞれのグループの中で計算単位を勘定とよび、名前を付けて科目とするのである。 B) その勘定に何をどのように記入するかを学習するのであるが、その勘定は帳簿に設けられた場所（口座）であって、その記入欄が左側（借方）と右側（貸方）からなり、それに増加（+）減少（-）を記入するのである。 C) その技術（仕組）を修得して、日常の取引活動を記録・計算整理して、その結果の報告書である、貸借対照表（バランスシート）や損益計算書等の財務諸表が作成されるのである。 ・学習量によって成果は裏切らない！！ ・努力ある答案、レポートが高得点になる。 【学習時間の目安】 1章 4時間、2章 4時間、3章 4時間、4章 3時間、5章 3時間、6章 4時間、7章 1時間30分、8章 3時間、9章 2時間30分、10章 3時間			

科目コード	2111	科目名	商法（商事関係法）
■ 授業概要・方法等 ＊メッセージ まず、テキスト全体を読み、全体像をとらえてください。個々の課題は、その後にあたってください。つぎに、文章の表現は、自分の考えで、作成してください。テキストや参考文献の丸暗記や丸写しはしないでください。さらに、文章構成にあたり、どこにポイントをおくかを注意してください。ていねいに、人に読んでもらうという気持を忘れないで作成してください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、商事に関する法律のなかで、商法（商法総則・商行為・海商）、会社法、保険法、手形法・小切手法を学習対象としています（実質的意義の商法＝商事関係法）。これらの法律は、企業の生活関係・経済活動と利害関係者の調整を規律する法律です。 この科目では、企業活動にあたっての利害対立・衝突をどのように解決するのか、また、それを予防するにはどうすればよいのかという問題を法的に学習します。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1, 2, 3 の達成に 関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 商法、会社法、保険法、手形・小切手法全体を学習しますので、広範囲の知識を修得しなければなりません。そのため個々の課題を学習する前に、全体を学習し、各法が企業・利害関係者にどのように作用しているのかを理解することが必要です。充分理解するまで、テキストを繰り返し熟読してください。 法律用語は、法律辞典・法律用語辞典で調べてください。それでも理解できない場合は、国語辞典で調べてください。 参考文献は、出版年度の新しいものを推薦しますが、会社法、保険法は、商法から独立し、単行法になっていますので注意してください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「商法（商事関係法）改訂版」 ■ 参考文献 商法（商事関係法）関係の図書は多数ありますので、自分自身で一番理解しやすいものを入門書として参考してください。 研究書的なもの、その他適当な良書については、テキスト『商法（商事関係法）[改訂版]』のなかに、主要参考文献として掲載されていますので、それを参考にしてください。ただし、出版年度・版の新しいものを推薦します。 ■ 関連科目 商法、会社法、保険法、海商法、手形・小切手法、有価証券法 ■ 授業計画の項目・内容 課題の中には、必ず求められているポイント（論点）があります。それを答案作成にあたり指摘してください。			

科目コード	3102	科目名	民法①
■ 授業概要・方法等 民法第1編（1条～169条）の民法総則と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるという地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目終末試験に合格すれば単位が認定されます。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 総則中に登場する基本概念を理解すること 2. 総則に規定されている諸制度の要件・効果を把握すること この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 3 の達成に關与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 最新の六法を参照しながら教科書等を読み、意義・要件・効果に留意してノートを作成すること。判例・学説が対立している問題については、まず判例の考え方を十分に理解したうえで、学説との違いを明らかにすること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「民法総則」 ■ 参考文献 『民法講義〈1〉民法総則 第7版』（近江 幸治、成文堂：2018）[ISBN] 9784792327163 『民法の基礎（1）総則 第5版』（佐久間 毅、有斐閣：2020）[ISBN] 9784641138322 『民法総則 第9版（法律学講座双書）』（四宮 和夫、弘文堂：2018）[ISBN] 9784335315428 『民法判例百選1 総則・物権 第8版（別冊ジュリスト No.237）』（有斐閣：2018） [ISBN] 9784641115378 ■ 関連科目 私法入門Ⅰ（財産法）、物権法、債権法総論、債権法各論			

科目コード	3501	科目名	商品学①
■ 授業概要・方法等 我々が生活を送る上で必要な「商品」に注目し、様々な知識を習得していく。また商品学という学問についての理解も深めていく。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 ①商品学の歴史や現状を理解する。 ②商品の定義、商品の分類方法を知る。 ③品質の定義、品質の重要性を理解する。 ④企業と商品の関係について理解を深める。 ⑤消費者問題について知る。 この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキスト、参考文献を通読しておいてください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「商品学」 ■ 参考文献 見目洋子・大原悟務 編『現代商品論 第2版』（白桃書房、2010年）[ISBN] 978-4561651888 ■ 関連科目 商学総論 ■ 授業計画の項目・内容 ①商品学の対象とする商品②商品分類の必要性③品質の定義とその重要性④商品学の歴史⑤商品学の現状⑥企業と商品⑦消費者と商品⑧社会と商品			

図書館司書科目

科目コード	5701	科目名	生涯学習概論
■ 授業概要・方法等 図書館司書課程科目において、図書館が生涯学習施設の拠点ということから「生涯学習概論」は大切な科目の1つである。したがって、図書館司書課程科目を学ぶには、まず生涯学習とは何かを知るべきである。本科目ではまず生涯学習の意義、生涯学習振興行政、生涯学習関連施策の動向、生涯学習支援、社会教育の意義、社会教育の内容・方法・形態、社会教育指導者、施設の概要等を学ぶ。授業の方法は、通信科目の関係上、テキスト主導で行い、レポートおよび試験で、その成果を図る。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 テキスト主導で学習をおこなう。教育目標は、テキストの内容を理解し、参考文献等で深めていくようにする。なぜならテキスト及び参考文献等の理解は、教室における授業そのものだからである。到達目標は、テキスト等を理解した内容を、レポートで表現して、自己の言葉で考えることにある。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては記述内容に講評を行い、返却する。 ■ 授業時間外に必要な学修 生涯学習の科目の範囲は、人文・自然・社会科学のすべてにわたる人間社会の分野に関わる学問であり、図書館利用者の要求もまた同じである。したがって、図書館利用者の要求に応じることができするために、これらの分野のテキストや参考文献等を極力読破しておくことが大切である。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「生涯学習概論」 ■ 参考文献 テキストを中心に熟読し、レポート設題に適した図書学関係の参考書を選ぶこと。 ■ 授業計画の項目・内容 1 生涯学習社会の創造へ向けて（生涯学習社会の概念等） 2 生涯学習振興行政の変遷 3 生涯学習振興行政と社会教育行政 4 生涯学習の学習課題・学習者 5 生涯学習の方法、生涯学習の支援方法 6 生涯学習社会と学校・地域・家族 7 生涯学習支援における図書館の役割 8 生涯学習支援における博物館の役割 9 生涯学習支援における青少年教育施設の役割			

科目コード	5702	科目名	図書館概論
■ 授業概要・方法等 私達の身近にある公共図書館について、どれだけ知っていますか？あなたの住む場所にいつから図書館がありますか？ 図書館とはなにか、図書館の意義、図書館の定義、社会と図書館について考えてみましょう。そして図書館が果たして来た役割とこれからの図書館像も考察しましょう。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、図書館全般についての入門です。図書館について総合的に概観しながら、私達の身近に存在する公共図書館の活動やサービスがどのように展開されているかを学んで下さい。レポートを通して実際の図書館業務を調査し、観察し、体験してください。テキストだけでは知り得ない実際の図書館を学んでくれることを期待しています。テキストでは図書館行政や図書館法の現況、図書館の類縁機関や図書館協力ネットワークなど、図書館を取り巻く社会との関わりを勉強して下さい。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 図書館に関する Web やテレビのニュース、新聞、雑誌記事などに日ごろから注目して下さい。様々な分野で図書館について触れていることに気がつくと思います。また公共図書館に所蔵されている図書館の専門雑誌「図書館雑誌」、「みんなの図書館」なども読んでください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館概論」 ■ 参考文献 『日本の図書館：統計と名簿、2021』 (日本図書館協会図書館調査事業委員会、日本の図書館調査委員会 編集, 日本図書館協会) [ISBN] 9784820421177 『図書館の歩む道：ランガナタン博士の五法則に学ぶ』 (ランガナタン 著、竹内愨 解説, 日本図書館協会：2010) [ISBN] 9784820410003 『図書館員をめざす人へ（ライブラリーぶっくす）』 (後藤敏行 著, 勉誠出版：2016) [ISBN] 9784585200451 『つながる図書館：コミュニティの核をめざす試み（ちくま新書、1051）』 (猪谷千香 著, 筑摩書房：2014) [ISBN] 9784480067562 『図書館のしごと：よりよい利用をサポートするために（第2版）』 (国際交流基金関西国際センター 編著, 読書工房：2021) [ISBN] 9784902666403 『知って得する図書館の楽しみかた（ライブラリーぶっくす）』 (吉井潤 著, 勉誠出版：2016) [ISBN] 9784585200444 ■ 授業計画の項目・内容 テキストは図書館について基本的な内容を記述しています。レポートは、図書館のサービスや図書館活動などを、実際の図書館を訪問して調査する内容を設定しています。テキストで学んだことを図書館の現場でできるだけ深めて下さい。			

科目コード	5703	科目名	図書館情報技術論
■ 授業概要・方法等 ＊メッセージ 現代は図書館のあり方が大きく変化しつつある時代です。基盤となる IT 技術などの革新を積極的に取りこみ、自らが進化の主導権を担える分野といえます。学習期間を通じて、現実の図書館を利用し、そこに自分の将来をイメージし楽しく自らが考え、新しいアイディアを発想することに挑戦してください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 現代社会において、情報技術（IT）と我々の生活とはきっても切れない関係にあります。図書館業務においても、OPAC（蔵書検索システム）・貸出返却業務の自動化・自動書庫など多くの業務が情報技術に支えられています。従って、図書館司書にとって情報技術の習得は必須となります。具体的には、コンピュータとインターネット、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料とデジタルアーカイブ、コンピュータシステム等についての基礎を理解し、修得することを目標とします。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 レポートおよび科目終末試験に備えて、テキストの内容を整理してまとめておき、それに自らの見解を加えて準備して下さい。論述では、テキストや参考文献を参照した部分と自らの見解を明確に区別できるようにして下さい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館情報技術論」 ■ 授業計画の項目・内容 学習にあたってはテキストを繰り返し読み、情報技術の基本と図書館業務との関わりについて充分理解してください。特に情報技術の基本となるコンピュータやパソコンを出来る限り実際に利用して理解を深めて下さい。情報技術と図書館との関わりについては図書館に出向いて、OPAC 端末を実際に操作して体験してみたり、貸出や返却業務が機械化されているかなど注意深く観察してテキスト内容を確認することも重要です。現代は図書館で活用される情報源や情報ツール、インターネットサイトは、多岐に渡り、それらを効果的に利用する必要があります。決まった手順はなく都度臨機応変に扱えるよう経験をして下さい。			

科目コード	5704	科目名	図書館制度・経営論
■ 授業概要・方法等 図書館制度では、図書館及び図書館周辺の法規を学び、うち図書館法逐条解説では、特に図書館法の改正点、旧と新法の違いや問題点になった部分等を学ぶ。 図書館経営においては、経営理念、目的、目標、計画の流れの重要性を学び、組織化のあり方、部門化の問題点、広がる雇用形態の多様化、司書の専門職性の問題点などを学ぶ。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 図書館制度では、憲法・地方教育行政法を含め、図書館に関連する法体系と図書館法の詳細、指定管理制度に伴う法的問題、関係団体の政策等を学習し、図書館を取り巻く制度を理解してもらう。 2. 経営論では、経営理念の重要性を、理念→目的→目標→計画、の流れから理解してもらうとともに、理念のあり方が図書館経営を左右することを理解してもらう。また、図書館経営には大事な4つの基本思考（利用者中心思考、建設的發展思考、中道思考、未来思考）があり、それぞれについての大切さを理解してもらうとともに、特に利用者中心思考が重要であることを知ってもらう。 3. 組織のあり方では、組織の考え方、組織の種類を学び、図書館組織のあり方を理解してもらう。また、内部業務の制度化では、諸規定・マニュアルの整備の必要性、権限・責任の明確化、部門組織化における諸問題を通して、図書館業務を深く理解してもらう。 4. 施設・設備・情報源の構築では、物的資源・情報源の整備、外部組織との連携を中心に、ハード面の整備の重要性を理解してもらう。 5. 人的資源のあり方では、専門職問題、多様な雇用管理問題、研修制度を通して、人的資源の構築・保全是どうあるべきかを理解してもらう。 6. 図書館計画と目標・評価では、基本計画の策定・計画表の作成法、目標化・評価のあり方について理解してもらう。 7. 予算編成では、主要な館種別図書館における、予算編成の基本的なスタイルを理解してもらう。			
■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 授業時間外に必要な学修 テキスト学習のみならず、複数の参考文献（図書・雑誌記事等）を活用し、学びを深めておくこと。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館制度・経営論」改訂版			
■ 参考文献 永田治樹 著『図書館の評価を高める』丸善 2002 [ISBN] 4-621-07085-1 鍵水三千男 著『図書館と法』（改訂増補版）日本図書館協会 2021 [ISBN] 978-4-8204-2100-9 ランガナタン 著『図書館学の五法則』森耕一 監訳 日本図書館協会 1981 [ISBN] 4-8204-8105-3 岩猿・大城・浅野 著『大学図書館の管理と運営』日本図書館協会 1992 [ISBN] 4-8204-9201-2			
■ 授業計画の項目・内容 ①図書館と法制度、②図書館法解説、③地方自治制度と図書館政策、④図書館経営と理念・目的、⑤図書館経営の基本思考【利用者中心思考（奉仕する価値・顧客志向）、建設的發展思考・中道思考・未来思考】、⑥組織構築と図書館の組織の種類、⑦内部業務の制度化【諸規定の整備・スタッフマニュアル】、⑧図書館組織における権限と責任・図書館協議会、⑨部門組織化と各部門における諸問題、⑩施設・設備・情報源の充実、⑪企業との連携と流通事情、⑫人的資源の整備・養成・多様な雇用管理、⑬研修制度の種類と重要な研修、⑭図書館計画の策定と計画表の作り方・目標・評価のあり方、⑮予算編成			

科目コード	5705	科目名	図書館サービス概論
■ 授業概要・方法等 図書館サービスの概要を理解してもらう。基本的サービスや対象別サービスの個々のサービスの概要と役割、その意義について理解してもらう。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 図書館にはどのようなサービスがあるのか理解する。そしてそれらが何のためになされているか、役割を理解する。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 実際の図書館サービスが行われている現場をできるだけ多く訪問して観察して欲しい。 そして、疑問に思ったことがあれば、きちんと尋ねてほしい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館サービス概論」 ■ 参考文献 日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会編『図書館ハンドブック』日本図書館協会 [ISBN] 9784820416098 ■ 授業計画の項目・内容 テキスト等をご参照ください。			

科目コード	5706	科目名	情報サービス論
■ 授業概要・方法等 情報社会と図書館における情報サービスの意義、情報サービスの種類、レファレンスサービスの理論と歩み、レファレンス質問と処理プロセス、レファレンス業務内容と組織、統計と評価、図書館サービスと相互協力、図書館利用教育の展開、各種情報源の組織化と諸科学の文献特性、各種レファレンスツールの特性の解説と利用法、等について学ぶ。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 図書館における情報サービスの必要性とサービスの種類、レファレンスサービスの具体的な業務内容と実際の質問処理法、図書館利用教育と必要性とその展開法、諸科学の文献特性、個々のレファレンスツールの特性と利用法を修得してもらい、実践的な知識を身に付けてもらう。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストのみならず他の参考文献（図書・雑誌記事等）を活用し学びを深めておくこと。特に、最後の章のレファレンスツールは、時間の流れで変化していくものがあるので、最新情報は参考文献『文献調査法：調査・レポート・論文作成必携（情報リテラシー読本）』（9版）にて学習すること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「情報サービス論」改訂版 サブテキスト：『文献調査法－調査・レポート・論文作成必携（情報リテラシー読本）』（9版） 毛利和弘 著 DB ジャパン 2021 [ISBN] 978-4-86140-172-5 ■ 参考文献 『情報リテラシー教育の実践』日本図書館協会 2010 [ISBN] 978-4-8204-0925-0 『図書館利用教育ガイドライン合冊版』日本図書館協会 2001 [ISBN] 978-4-8204-0115-5 ■ 授業計画の項目・内容 ①図書館における情報サービスの意義、②情報サービスの種類（レファレンスサービス・広報・情報発信）、③レファレンスの理論・発展史、④情報サービスの実際（利用者行動と質問処理プロセス、情報サービスの実際 質問形態と種類・事例の活用）、⑤レファレンス業務の組織的展開（直接業務と間接業務）、⑥レファレンス業務の組織化、⑦統計と評価（調査と統計・調査の方法・統計の利用）、⑧図書館サービスと相互協力、⑨図書館利用教育とその展開、⑩各種情報源の特質と利用法、⑪本の調べ方、⑫参考図書・官公庁・翻訳・全集・主題文献の調べ方、⑬雑誌・新聞記事の調べ方、⑭雑誌・新聞の調べ方、⑮所蔵館の調べ方・人物情報からの文献の調べ方等			

科目コード	5707	科目名	児童サービス論
■ 授業概要・方法等 児童サービス論では子どもと本をつなぐ様々な活動や図書館員の役割などを学ぶ。図書館における児童サービスでは様々な取り組みを通して子どもの頃に読書習慣を身につけること、将来的に読書を楽しみ、教養をつけていく力を養うことなどを目指していく。子ども向けのさまざまな資料の構成や子どもと本を結ぶための方法や技術などを理解する。年齢に対応した様々なサービスの展開と学校や地域等との連携についても学ぶ必要がある。 図書館における様々な児童サービスを知り、子どもと本をつなぐ意義やその方法を理解する。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 図書館で行われているさまざまな児童サービスの内容やその方法を理解し、子どもの読書へ与える影響や図書館員に求められることについて理解を深めること。また図書館で子ども向けに開催する行事・イベントの意義や方法（プロセス）を理解し、効果的な活動を行っていきける力を養うこと。 その為にはテキスト等による学習だけではなく、日頃から図書館を利用して児童へのサービスを注意して観察し、またイベントへ参加するなどして体験的にも学習を重ねられるよう努力をしていくことが望ましい。子どもを知り、子どもの本を知り、子どもと本を結びつける技術を修得すること。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては記述内容に講評を行い、返却する。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストを参考として各項目の事項を理解する。各課題の要点を掴み、まとめ、説明できるように学習すること。また身近な公共図書館などのイベントを利用して子どもへの働きかけや児童サービスへの取り組みなどをよく観察し、その効果や役割、課題などを考察することで児童サービスへの理解を深める努力が求められる。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「児童サービス論」 ■ 参考文献 堀川照代 編著、『児童サービス論 新訂版』（JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6） 日本図書館協会 2020.3 [ISBN] 9784820419099 ■ 授業計画の項目・内容 テキストなどを参考に理論的に児童サービス論についての知識を深めるだけでなく、計画的に図書館での児童サービスを見学し、その活動内容を確認するなどして実践的に科目に対する理解を深めること。特に子ども向けのイベントや広報の仕方、絵本などの資料については気を配り、どのような資料を揃えているのか、どのような広報活動を行っているのかなどを学ぶことで、より児童サービスを知識と実際的な内容から理解して説明できることが求められる。			

科目コード	5709	科目名	図書館情報資源概論
■ 授業概要・方法等 印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、図書館で扱う多様な資料の類型や特質、その生産流通と図書館における保存や管理、蔵書構成に必要な知識を理解し、図書館情報資源の基礎的な知識・能力を養う。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 1) 図書館情報資源の定義について、説明することができる。 2) 図書館情報資源の類型や各資料群の特性について、説明することができる。 3) 図書館情報資源の収集、選択について説明することができる。 4) 日本の出版流通の問題や課題について、説明することができる。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 図書館ではどのような資料を扱い、どのように管理しているのか。実際の公共図書館に行って確認しておくこと。さらに図書館や出版関連の現状について、新聞記事やウェブサイトなどを読むように心がけてほしい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館情報資源概論」 ■ 参考文献 ※近畿大学通信教育部テキストの各章ごとに参考文献を記載しています。 ・岸田和明 編著、小山憲司ほか著『改訂図書館情報資源概論』（現代図書館情報学シリーズ8）樹村房、[ISBN] 978-4-88367-338-4 ・細野公男、長塚隆 共著『デジタル環境と図書館の未来』（図書館サポートフォーラムシリーズ）日外アソシエーツ、[ISBN] 978-4-8169-2589-4 ■ 授業計画の項目・内容 まずはテキストを熟読し、図書館全体の機能や理論を理解した上で、図書や雑誌、新聞、電子資料、ネットワーク情報資源といったさまざまな情報資源がどのように収集・提供されているのかに着目し、各資料の特徴を押えてほしい。テキストで理解できない部分は、参考文献を活用して正しく理解すること。			

科目コード	5710	科目名	情報資源組織論
■ 授業概要・方法等 情報資源組織（化）とは、「利用者が求める情報資源（資料）を容易に探せるよう情報資源環境を整備すること」です。閲覧や貸出サービスなど利用者と直接対面して行うのが「直接サービス」であるのに対し、ここでは「間接サービス」を取り扱うことになります。 本科目では、情報資源組織化の理論と技術（手法）について学びます。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 受講者は、この科目を履修することによって、 1）情報資源組織化の意義と目的の理解、 2）図書や雑誌、ネットワーク情報資源といった様々な情報資源に対する組織化の手法についての知識の習得、 3）情報資源の組織化に使われる基本的なツール（『日本目録規則』や『日本十進分類法』など）の概要の理解、 が可能になります。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 近隣の図書館（館種は問わない）を積極的に利用してください。図書館の利用を通じ、情報資源の組織化についての理解が深まります。また、『日本目録規則 1987 年版』（NCR1987）から『日本目録規則 2018 年版』（NCR2018）へ移行する図書館も多く見られるかと思しますので、館内の掲示、目録、図書記号によく着目してください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「情報資源組織論」 ■ 参考文献 『情報資源組織論（第 2 版）』榎本裕希子 他著 学文社 [ISBN] 9784762028892 『情報資源組織論及び演習（第 3 版）』那須雅熙 著 学文社 [ISBN] 9784762030123 『情報資源組織論（3 訂版）』柴田正美 他著 日本図書館協会 [ISBN] 9784820419150 『分類・目録法入門（新改訂第 6 版）』志保田務 他著 第一法規 [ISBN] 9784474069541 『情報資源組織論』竹之内禎 他著 東海大学出版部 [ISBN] 9784486021889 『図書館情報学用語辞典（第 5 版）』日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 編 丸善出版 [ISBN] 9784621305348 『図書館用語集（4 訂版）』日本図書館協会用語委員会編 日本図書館協会 [ISBN] 9784820413110 ■ 関連科目 5711 情報資源組織演習 ■ 授業計画の項目・内容 学習する際に心がけてほしいことは、以下のとおりです。 1）テキストを繰り返し読み、まず情報資源組織化の意義と目的、間接サービスの意味について理解する。 2）次段階として、利用者に情報資源を効果的かつ効率的に利用してもらうための技術（手法）や、そのための基本的なツールに取り掛かる。 3）テキストで紹介されているウェブページへ積極的にアクセスし、利用する。 4）実際に図書館に出向き、目録（OPAC やカード目録など）を利用して得られる情報資源についてどのような情報が記録されているのか、また、情報資源がどのように分類・配架（特に NDC を採用した事例）されているのか、よく観察すること。 ※テキストを読み進めるうちに、わからない用語や理解できない事柄があれば、参考文献を活用して正しく理解するようにしてください。 ※レポート作成のための現地調査では、自身が利用者の立場から館内を歩き回り、いろんな気づきや発見に出会う機会を持つことに重きを置いてください。			

科目コード	5801	科目名	図書・図書館史
■ 授業概要・方法等 記録媒体の変遷や、日本と外国の図書館の興亡を古代から現代まで概観し、「図書館が存在」することの文化史的意義について理解する。歴史は「今」につながる。今日の図書館基盤形成を再確認し、未来の設計図を作成する手がかりとする。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、図書を中心とする記録メディアの歴史と、その保管装置である図書館の歴史を理解することを目標とする。図書館は古来より延々と人類が生んだ記録物を集積・保存し、利用につなげ、次の時代へと継承し、もって未来の思想をつくる役目を果たしてきた。しかし、その道のりは平たんではない。興亡の繰り返しであった。今日あるさまざまな問題も、かつて図書館が遭遇した課題と無縁ではない。歴史を学ぶ点はここにある。古代から現代までの図書と図書館の歴史を学ぶことによって、今日の図書館への理解をさらに深める。それにより今の誰でも無料で使える図書館のスタイルは、最近完成されたものということを知って欲しい。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストは1単位用の内容を骨太に述べてあります。歴史の細部にわたっては各種の参考文献を参照して、多角度から理解を肉付けしてください。また、私たちの身近な図書館や歴史的に由緒のある図書館の見学などは、この科目の理解をいっそう深めるものとして、お勧めします。 ■ 参考文献 『図書及び図書館史』寺田光孝 他 樹村房, 1999 [ISBN] 978-4883670130 『日本図書館史概説』岩猿敏生 日外アソシエーツ, 2007 [ISBN] 978-4816920233 『図書・図書館史』佃 一可 編 樹村房, 2012 [ISBN] 978-4883672110 『図書・図書館史』綿貫豊昭 学分社, 2014 [ISBN] 978-4762024368 『図書・図書館史』千 錫烈 編著 学分社, 2014 [ISBN] 978-4762022005 『図書・図書館史』三浦太郎 編著 ミネルヴァ書房, 2019 [ISBN] 978-4623084722 『情報革命の世界史と図書館』山口広文 樹村房, 2019 [ISBN] 978-4883673247 『図書館の日本史』新藤 透 勉誠出版, 2019 [ISBN] 978-4585200673 『古代日本に於ける「図書館」の起源』新藤 透 樹村房, 2022 [ISBN] 978-4883673643 『戦国の図書館』新藤 透 東京堂出版, 2020 [ISBN] 978-4490210378 『図書館と江戸時代の人びと』新藤 透 柏書房, 2017 [ISBN] 978-4760148776 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書・図書館史」 ■ 授業計画の項目・内容 1 記録媒体の変遷 2 日本の図書館史（古代、鎌倉・室町時代、江戸時代、明治・大正・昭和前期、現代の図書館） 3 西洋の図書館史（古代、中世、近世、近代） 4 情報図書館の時代			

科目コード	5802	科目名	図書館実習
■ 授業概要・方法等 公共図書館で下記の実習実施内容に基づきおこないます。 実習事項の例示 A 実践を通しての実習 ① 基礎的内容 a 資料の選定、発注、受入の業務 b 資料の整備と装備 c 閲覧、貸出の実務 d レファレンス・サービス受付、調査、回答 e 図書館システムの管理 f 電子情報の管理と利用 ② 各図書館の特色に応じた内容 a 児童サービス b 統計処理 c 書架作業と蔵書点検 d 複写サービス e 図書館相互貸借の事務処理 f 移動図書館（BM）による全域サービス g 図書館広報活動 h 郷土資料の取り扱い i 逐次刊行物の取り扱い（新聞・雑誌等） j 視聴覚資料の取り扱い B 観察による実習 a 図書館協議会の運営 b 各種委員会の運営 c 職員の研修 d 利用者の実態 e 図書館協力（図書館相互の協力、他の類縁機関との協力） f 読書会その他の集会行事 g 職員構成 h 図書館のサービス計画 i 図書館の行財政 図書館実習申込みの所要資格 図書館実習をおこなうためには、必修甲群の通信授業科目9科目、面接授業科目2科目の単位を修得していることが必要です。 上記所要資格を満たしていない場合は、実習における各項目の理解が不十分になり、成果が期待できませんので図書館実習を許可することはできません。また、申込の時点で修了要件を満たしている場合（24単位が揃っている場合）は手続きできません。 実習後、図書館実習簿を図書館より送付いただきますが、学籍有効期限の10日前までに実習簿が事務局へ到着する必要があります。 ※図書館実習を履修登録された方には、受講許可時実習実施についての小冊子を同封しますので、詳細については小冊子でご確認ください。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 図書館現場での業務との関係で、講義、演習科目を深く総合的に理解させると共に、司書としての問題意識を構成させる。 ■ 成績評価方法および基準 実習図書館からの報告（実習簿の返却）に基づき、本学が単位認定をおこないます。成績は、実習月（最終日のかかる月）の月末に処理し、通知書と実習簿を送付することで成績発表とします。 ■ 参考文献 [ISBN] 9784820413028 『図書館実習 Q&A』 川原亜希世 [ほか] 著 日本図書館協会 2013 年			

科目コード	5803	科目名	図書館サービス特論
■ 授業概要・方法等 公共図書館が近年導入している課題解決支援サービス、非来館型サービス、障がい者サービス、多文化サービス等の取り組みについて、歴史や具体的な事例をもとに考察していく。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 近年、図書館サービスは大きく変わってきている。その中でも特に公共図書館において取り組みが進んでいるサービスに焦点を当て、各図書館が「地域の知の拠点」としての役割を担うため、どのような視点でサービスを展開しているのか、事例に即して学ぶことにより、図書館サービスの将来展開を考えることを目指している。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストやインターネットによる知識だけでなく、実際に近隣の公共図書館に出向いて、自分の目で観察し考察する機会を増やして頂きたい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館サービス特論」 ■ 参考文献 『これからの図書館』 谷一文子 著 平凡社 2019 [ISBN] 9784582838169 『図書館サービス概論』 第2版 金沢みどり 著 学文社 2016 [ISBN] 9784762025822 『つながる図書館』 猪谷千香 著 筑摩書房 2014 [ISBN] 9784480067562 『これからの図書館』 増補版 大申夏身 著 青弓社 2011 [ISBN] 9784787200471 ■ 関連科目 図書館サービス概論 ■ 授業計画の項目・内容 1. 自分の考えや思い込みに縛られるのではなく、まずテキストの内容を十分に理解した上で、インターネットなどを通じて知識を広げること。 2. その上で公共図書館に実際に出向いて、自分の目で観察し、インターネット等で発信されていないサービスについても理解を深め、次にサービスの課題を見つけること。			

科目コード	5804	科目名	図書館情報資源特論
■ 授業概要・方法等 成績評価の基準としては、その問題についての基礎的知識があるか、論文の構成がきちんとなされているか、誤字がないか、さらに自己の言葉で書かれているかなどである。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、図書館における情報資源にはどのようなものがあるか、その内容とそれぞれの特質を理解することにある。そして、さらに図書館資源のそれぞれの生産・流通、選択、収集、保存についての基礎知識を習得することを目的とする。 今日は、情報社会が著しく進展し、社会の隅々にまで情報がいきわたる時代となった。私たちの生活には大量の情報が押し寄せ、溺死寸前の状態であるといっても過言ではない。このような現状にあって、国民が情報資料（資源）を的確に判断し、選択することはきわめて困難である。われわれ図書館利用者が図書館情報資源を確実に手に入れるにはどうしたらよいか、これこそ社会が要求している重要な問題である。そのためには、図書館における情報資源の本質と種類を十分に理解しなければならないのである。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 学習にあたっては、現代の革新的なコンピュータ技術の進展が、人文・社会・自然科学技術の分野における情報資料の現状に大きな変革をもたらしていることを忘れてはならない。とくに自然科学の学術分野におけるインターネットを通しての電子化には著しいものがある。電子ジャーナルサービス情報なしには調査研究は不可能といってもよいほどである。しかし、一方、人文・社会の学術分野では、これまでの書誌・目録・索引などによる資料調査もやはり重要であり、不可欠でもある。このように専門領域によって情報資源へのアクセス方法も異なるのが今日の実状である。このことにも十分に留意しながらテキストを読み、図書館情報資源に関する基礎的知識を身につけるようにしてほしい。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「図書館情報資源特論」 ■ 授業計画の項目・内容 科目終末試験答案の作成にあたっては、 1) 論文の構成に力を注ぐこと。それには出題されている問題が何を求めているかを熟考することである。 2) 使用する文章は「…である」調にする。 3) 文字は丁寧に、きれいに書くことを心がける。 試験を受けるにあたっては、通信授業用テキストを熟読し、20問についてそれぞれの要点を要領よく整理しておくことが必要である。			

学校図書館 司書教諭科目

科目コード	5601	科目名	学校経営と学校図書館
■授業概要・方法等 この科目は、司書教諭の資格に必要な科目の1つで、もっとも入門的な科目です。 学校図書館とは何か、なぜ学校の中に図書館が必要なのか、司書教諭は何をするのか、などを学びます。 司書教諭の資格の取得を目指す方は、この科目を最初に、または少なくとも他科目と同時に学ぶことをおすすめします。 ■学習・教育目標及び到達目標 ・児童生徒・同僚・管理職・保護者など、相手に合わせて学校図書館の重要性を説明することができる ・学校図書館に関する仕事内容を列挙し、状況に合わせて司書教諭が担当すべき仕事を理由をつけて選ぶことができる ・学校経営計画などの「学校の目標」と学校図書館とを関係して説明できる ・司書教諭と学校司書の違いを説明し、協力や仕事の分担の方法を提案することができる ■成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■授業時間外に必要な学修 レポートを書くために、実際の学校図書館に見学に行くことが求められます。 ■教科書 通信授業科目用テキスト「学校経営と学校図書館」 ■参考文献 公共図書館などで『学校図書館』『図書館雑誌』という2つの雑誌を月に1度ばらばらめくってください。 以下を全て買う必要はありません。いくつかを近くの公共図書館で手に取ってください。 高校生向けの易しいものも含まれています。 ない場合、「他の図書館から取り寄せてみる」を体験してみるのもいいでしょう。 『司書になるには（なるにはBOOKS）』（森 智彦、ペリかん社：2016）[ISBN] 9784831514202 『みんなでつくろう学校図書館（岩波ジュニア新書）』（成田 康子、岩波書店：2012）[ISBN] 9784005007035 『学校司書って、こんな仕事』（かがわ出版：2014）[ISBN] 9784780306996 『学校図書館のつかい方―読書力アップ!』（赤木 かん子、光村図書出版：2012）[ISBN] 9784895286688 『東出雲発！学校図書館改革の軌跡―身近な図書館から図書館活用教育へ』（原田 由紀子、国土社：2012）[ISBN] 9784337450462 『改訂 学校経営と学校図書館（司書教諭テキストシリーズⅡ）』（中村 百合子、樹村房：2022）[ISBN] 9784883673612			

学校図書館に限ったことではありませんが、いろいろな考え方があります。
ここに上げた本でも、著者によって考え方は違うので、何冊か見ると、書いてあることは矛盾しているはずです。
どちらが合っているかはすぐには分かりません。どちらも正解かもしれません。
ただ、「自分だったらどうするか」など、自分で考え続けることが重要です。
とりわけ司書教諭は学び続ける必要があります。

■ 関連科目

司書教諭の資格の取得に必要な他の4科目より先に、または同時に履修することを勧めます。

■ 授業計画の項目・内容

まずは、学校図書館は何かから学びはじめます。学校図書館とは小・中・高校・特別支援学校にある、いわゆる図書室のことです。別棟でなくとも学校図書館といいます。また、大学にある図書館は学校図書館ではありません。また、学校図書館は自分の好きな本を借りる場所でもあります、探究学習（調べ学習）などの場所でもあります。主に児童生徒が利用しますが、教職員も利用します。

次に、学校図書館や司書教諭は具体的に何をするのかを大まかに学びます。司書教諭は本の貸出や整理をするだけでなく、他の教員と共に学校図書館でどのような授業をするか考え、授業を行い、授業が成功しているか振り返ります。司書教諭はその名の通り教員なのです。

その次は、学校図書館は学校とばらばらであってはいけない、目標に向けた学校全体の動き（学校経営）と学校図書館で行うことは一致してなければならないことを学びます。

最後に、現在配置が進む、司書教諭とは別の職種である「学校司書」との協働など、現在の日本の学校図書館が抱える課題の解決方法を考えます。他の科目を学ぶ上で、また司書教諭になった後でも、それぞれが「学校図書館とは何なのか」を学び続けること、考え続けることは必要であり、その基礎となります。

科目コード	5602	科目名	学校図書館メディアの構成
■ 授業概要・方法等 学校図書館の機能を十分に発揮するためには、学校図書館メディアが十分に備えられ、検索可能な状況であることが不可欠である。本科目では、世の中に存在するメディアの中から学校図書館にとって必要なものを選択、収集し、これらを有効・適切に利用者（児童生徒・教員）に利用してもらうための手順・方法を学び、司書教諭の具体的な業務について把握する。具体的には、学校図書館におけるメディアの種類とその特性を明らかにし、さらにそのメディアを十分活用するために、目録、分類などのプロセスを学んでいく。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 学校図書館の機能を十分に発揮できるようにするために必要とされる学校図書館メディアの構成、蓄積・活用にあたっての基本的な知識、スキルの習得、司書教諭の具体的な業務について把握することを目的とする。最終的には、本科目を通して実務能力の育成にもつながることを期待する。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 実際のところ、テキストを読むだけでは、業務に必要な全ての知識、技能が得られるとは言い難い。テキストだけでは理解しきれない場合や補足説明が必要な場合には、適宜、各自が参考文献にあたるなどして、積極的に理解を深める努力をすること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「学校図書館メディアの構成」 ■ 関連科目 「学習指導と学校図書館」など、他の学校図書館司書教諭科目を受講していることが望ましい。 ■ 授業計画の項目・内容 着眼点や構成がよくても、用語の不適切な使用は認めない。基本的な用語についてはテキストをしっかりと読み、理解してほしい。また、テキストを暗記してそれを記述するような姿勢ではなく、本質を理解し、自分の言葉で論じられるよう準備しておいてもらいたい。そして、各自が関わった学校図書館の状況と照らしあわせて学習をすすめることによって、理解の補助になる一面もあるが、その学校図書館のみに固執して考えることによって障害も生まれる。常に広い視野をもって吸収していく姿勢を忘れないこと。			

科目コード	5603	科目名	学習指導と学校図書館
■ 授業概要・方法等 学校図書館は「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説・総則編」（文部科学省）にあるように、「各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されて」います。このようなこともふまえつつ、児童生徒の学習活動や教師の教育活動で学校図書館の機能を活用することの意義や、児童生徒の情報活用能力の育成について取り上げます。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 学校図書館の機能や学校図書館のメディアを活用した教育活動・学習活動の意義および情報活用能力の育成について説明できる。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 テキストをよく読むとともに、参考文献にもあたってください。また、地域の公共図書館等を活用するなどして、学校教育や学校図書館に関する資料を幅広く読むよう努めてください。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「学習指導と学校図書館」 ■ 参考文献 『学校図書館の教育力を活かす』塩見昇 著 日本図書館協会 2016 年 [ISBN] 978-4-8204-1613-5 『批判的思考力を育てる学校図書館』渡邊重夫 著 青弓社 2020 年 [ISBN] 978-4-7872-0073-0 ■ 授業計画の項目・内容 学校図書館は図書館サービスによって児童生徒及び教職員に資料や情報を提供し、児童生徒の学習活動や教師の授業づくりを支援します。また、情報活用能力の育成についても大きな役割を果たします。テキストではまず学校図書館の機能と役割について押えた上で、教育課程と学校図書館について取り上げています。学校図書館を活用した授業の実践例や教師へのインタビューからも授業で学校図書館を活用する意義を学ぶことができるよう工夫しています。また、学校図書館の教科等での利活用や体系的な情報活用能力の育成をおこなう上での司書教諭の役割や学校司書との協働についても解説しています。テキストや参考文献等を活用して学びを深め、考察してください。			

科目コード	5604	科目名	読書と豊かな人間性
■ 授業概要・方法等 現代社会において、子どもたちに「読書」がなぜ必要なのか、また、その読書をすすめるための学校における司書教諭の任務とともに、学外の施設、地域との連携を含めた子どもの読書活動の支援について考察する。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 ①子どもを理解する②子どものための資料を十分に知る③子どもと資料を結ぶための技術と、子どもたちが日常的に読書習慣を身につけることを支援する方法を学ぶ。以上のことを目標とする。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 「子どもを理解」し、「子どものための資料を十分に知る」ためには、自分自身が子どもの本をよく読み、読書の楽しさを知っていなければならない。テキストを参考にして、実際に多くの子どもの資料を手に取り、資料への十分な知識を蓄えること。また、「子どもと資料を結ぶための技術」を習得するためには、テキストで理論的なことを学ぶだけでは足りないので、できるだけ図書館などの現場で体験し、読み聞かせやブックトークなどの研修を受ける機会があれば参加してその技術を身につけること。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「読書と豊かな人間性」 ■ 関連科目 「学習指導と学校図書館」など、他の学校図書館司書教諭科目を受講していることが望ましい。 ■ 授業計画の項目・内容 この科目は、授業概要にあるように、司書教諭が学校図書館の運営の中で、子どもたちの読書活動を支援するための具体的な方法を学習するが、レポートや科目終末試験については、テキストを理解すれば対応できるようになっている。テキストの後にある法律などの資料もテキストの内容の範囲に入るので、よく読んで理解しておくこと。学習については、以上の留意点を参考にして、この科目を楽しむこと。レポートについても試験についても、何が問われているかを理解したうえで、自分の考えや体験などを加えて自分の言葉で述べて欲しい。自分が司書教諭になった場合のことをイメージして、子どもたちと共に読書を楽しむことを考えてみて欲しい。			

科目コード	5605	科目名	情報メディアの活用
■ 授業概要・方法等 最新の情報を得たうえで具体的な学校図書館活動を自分なりに描き、情報メディアの活用を考える必要がある。実際に自分が司書教諭として学校図書館を任された場合に情報メディアをどう活用しなくてはいけないのか、真剣に考えることで様々な疑問が生じるはずである。その疑問が具体的な学校図書館像を描くためには重要である。常に疑問や問題意識を持って取り組んでほしい。 レポートの評価では、論点が明確な内容であることはもちろんだが、論理的な文章構成になっているか、自分の考えが自分の言葉で明確に表現できているか、また引用文献、参考文献に提示がなされているかなど、基礎的なレポートの書き方も重要な評価基準となる。試験では、設題で求められているキーポイントが明確に述べられているかどうか重要な評価基準となる。 ■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、学校図書館の視点で情報メディアの活用を勉強していくものである。「学習センター」「メディアセンター」としての機能を要求される今日の学校図書館においては、必要な情報を収集、選択、利用、発信していくための情報活用能力を育成することも重要な課題となっている。そこで、学校図書館における情報活用能力とは何か、学校図書館には何ができるのかを深く考え、さらに著作権の問題、情報メディアの「負の要素」についても考えることで、「情報メディアの活用」の意義を理解していく。常に最新の情報に目を配り、学校図書館の活動はどうあるべきか、学校図書館は生徒とどう関わるべきなのかといった学校図書館の理念も念頭におきながら、情報メディアの活用を考えてもらいたい。 ■ 成績評価方法および基準 レポートと科目終末試験の合格 100% ■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。 ■ 授業時間外に必要な学修 日々進展する情報メディアを理解するためには、テキストだけの学習では足りない。レポート作成にあたり、単にテキストを抜き出しまとめるだけでなく、自分なりの考えをもてるよう、学習を進めなくてはならない。そのためには、できる限り新しい資料などを参考にし、様々な機会を利用して情報メディアの動向を探るなどし、最新の情報を得る努力が欠かせない。最新の情報の中から、学校図書館と情報メディアの関係、学校図書館と情報活用能力の関係を考える努力をすることが重要である。 ■ 教科書 通信授業科目用テキスト「情報メディアの活用」 ■ 授業計画の項目・内容 試験については、テキストをよく読んでおくことが必要となるが、単にテキストを読んで丸写しをしたような解答ではなく、自分の言葉で簡潔にかつ論理的に表現するよう努力すること。また、試験に解答する場合もレポートと同様に、最新情報を勉強してそれを盛り込む努力をすること。			



#近大通信
SNSで情報発信中



近畿大学通信教育部
〒577-8691

布施郵便局私書箱71号
事務局

・東大阪キャンパス (06) 6722-3265
(東大阪市)